

令和4年度 計画変更

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(区画整理)

要綱事業名

(水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備型）)

沖 縄 県

地 区 名 : 真良瀬嶺地区

所 在 地 : 宮 古 島 市

事業主体 : 沖 縄 県

県営真良瀬嶺地区土地改良事業計画書

目 次

第1章	目的	1
第2章	地域及び地積	1
	第1節 地域	1
	第2節 地積	1
第3章	現況	2
	第1節 気象及び海象	2
	1. 一般気象	2
	2. 特殊気象	2
	3. 海象【該当なし】	2
	第2節 土地状況	3
	1. 地形、土壌及び浸食の程度	3
	2. 土地分類【該当なし】	4
	3. 土地利用の状況	5
	4. 土地所有の状況	6
	第3節 水利状況	7
	1. 用水状況【該当なし】	7-9
	2. 排水状況【該当なし】	10-12
	3. 河川状況【該当なし】	13
	第4節 道路概況	14
	1. 道路概況	14
	2. 主要道路一覧表	14
	第5節 地域農業の概況	15
	1. 産業別就業人口	15
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	16
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	17
	4. 主要作物作付状況	18
	5. 農業の動向	19
	第6節 地域環境の状況	20
第4章	一般計画	21
	第1節 事業計画の要旨	21
	1. 要旨	21
	2. 事業別面積	21
	第2節 営農計画及び土地利用計画	22
	1. 営農計画の概要	22
	2. 土地利用区分	22
	3. 作付方式	23
	4. 生産計画	24
	5. 労働改善計画	25
	6. 級地別土地利用区分【該当なし】	26
	7. 土地配分計画【該当なし】	27

第3節 用水計画	28
1. 計画基準年 【該当なし】	28
2. 計画かんがい方法【該当なし】	28
3. 計画用水系統 【該当なし】	28
4. 計画用水量 【該当なし】	29
5. 水源計画 【該当なし】	30-32
第4節 排水計画	33
1. 計画基準雨量	33
2. 計画排水方式	33
3. 計画排水系統	33
4. 計画排水量	33
5. 排水対策	34-35(1-6)
6. 湛水検討 【該当なし】	36
第5節 道路計画	37
1. 道路及び索道	37(1-2)
2. 路線配置図	38
第6節 農用地造成計画	39
1. 農用地造成計画【該当なし】	39
2. 土壌改良 【該当なし】	39
第7節 洪水調節計画	40
1. 計画基準雨量 【該当なし】	40
2. 計画洪水量及び調節量 【該当なし】	40
3. 貯水池 【該当なし】	40
4. 洪水調節検討 【該当なし】	41
5. 管理計画 【該当なし】	41
第8節 干拓計画 【該当なし】	42
第9節 農用地整備計画	43
1. 区画整理	43
2. 暗渠排水 【該当なし】	44
3. 客土 【該当なし】	45
4. 農地保全	45
第10節 老朽ため池改修計画	46
1. 洪水吐改修計画 【該当なし】	46
2. 堤体補強計画 【該当なし】	46
3. 取水施設改修計画 【該当なし】	46
第5章 主要工事計画	47
第1節 用水施設	47
1. 貯水池 【該当なし】	47
2. 頭首工 【該当なし】	47
3. 揚水機 【該当なし】	48
4. 用水路 【該当なし】	49
5. その他かんがい施設 【該当なし】	49

	第2節 排水施設	50
	1. 排水水門 【該当なし】	50
	2. 排水機 【該当なし】	50
	3. 排水路	51
	4. その他排水施設 【該当なし】	51
	第3節 道路及び索道	52
	1. 道路 【該当なし】	52
	2. 索道 【該当なし】	53
	第4節 農用地造成	54
	1. 農用地造成 【該当なし】	54
	2. 土壌改良 【該当なし】	55
	第5節 洪水調整施設	56
	1. 貯水池 【該当なし】	56
	2. 頭首工及び導水路 【該当なし】	56
	第6節 干拓施設	57
	1. 堤防 【該当なし】	57
	2. 潮止め 【該当なし】	57
	3. 付属施設 【該当なし】	57
	4. 埋立 【該当なし】	57
	第7節 農用地整備施設	58
	1. 区画整理	58
	2. 暗渠排水 【該当なし】	59
	3. 客土 【該当なし】	60
	4. 除礫 【該当なし】	60
	5. 農地保全 【該当なし】	60-61
	第8節 老朽ため池改修施設	62
	1. 貯水池 【該当なし】	62
	2. 堤体補強施設 【該当なし】	62
第6章	附帯工事計画 【該当なし】	63
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	63
第8章	環境と調和への配慮	64
	1. 事業計画における配慮	64
	2. 工事実施における配慮	64
	3. 貴重な動植物、文化財及び景観などへの配慮	64
第9章	換地計画の概要	65
	第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	65
	第2節 換地区の設定	65
	1. 換地区の名称、所在、面積	65
	2. 換地区を設定する理由 【該当なし】	65
	第3節 換地計画樹立の基本方針	65
	1. 従前の土地の地積の基準	65
	2. 用途別予定地積	66(1-2)-67
	3. 農用地集団化の方針	68
	4. 非農用地換地の方法 【該当なし】	68

第4節	土地の評価及び清算の方法	68
1.	評価の方法	68
2.	清算の方法	68
第5節	換地計画書樹立の年度計画	68
第6節	換地処分の特則	68
第10章	事業費の総額及び内訳	69
第11章	効用	70
第12章	関連する事業	71
第13章	現況・計画平面図	71
1.	現況平面図	71
2.	計画平面図及び土地利用計画図	71
3.	主要構造図	71
※表における上段、下段の数字は次の内容である。		
(当初)		
現計画		

第1章 目 的

本地区は、宮古島の東部に位置し、基幹作物であるさとうきび、葉たばこを主体とした営農が展開されている畑作地帯であり、耕土深が厚く肥沃な島尻マーグ土壌が広がっているものの、農地は不整形で通作道が少なく、多大な営農労力を必要としていることから、農業生産性が低く農業経営に支障をきたしている。

このため、本事業により区画整理による大区画ほ場を整備することで機械化体系を確立し、農業生産性の向上による付加価値の高い作物への転換を図るとともに営農労力を軽減し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
区画整理	沖縄県宮古島市城辺字真良瀬嶺地内

第2節 地 積

(令和7年 02月現在) (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理	宮古島市	-	(54.7) 53.3	- 0.1	-	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8	
	計	-	(54.7) 53.3	- 0.1	-	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8	
合計		-	(54.7) 53.3	- 0.1	-	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	宮古島地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計	備 考
観測期間	1975～2016	1月～12月(通年)	月～月	又は平均	
平均気温(℃)		23.6℃	－℃	23.6℃	
降水量	平均(mm)	1,984mm	－mm	1,984mm	
	基準年(mm)	1,771mm	－mm	1,771mm	
降水日数	平均(日)	75日	－日	75日	
	基準年(日)	90日	－日	90日	
根雪期間		－			
無霜期間		－			
最多風向		NNE	最大風速 (風向)	38.4 m/s (N)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日
					12月～4月 平成15年9月11日

2. 特殊気象

(2-1)

(第3表－2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
宮古島地方気象台									
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
昭和49年～平成18年									
最大日雨量 (mm)	401.9	55.10.18	1/94	340.4	49.7.	1/37	331.7	42.6.23	1/32
最大時間雨量 (mm)	138.0	70.4.19	1/545	106.0	38.4.	1/40	100.2	55.10.18	1/26
最大4時間雨量 (mm)	258.0	55.10.18	1/892	196.5	70.4.18	1/50	184.8	42.6.22	1/31
最大連続雨量 (mm)	512.0	85.8.14	1/28	499.4	55.10.19	1/24	492.5	88.4.27	1/22
最大連続干天日数(日)	64.0	63.6.1	1/87	56.0	98.8.19	1/40	51.0	88.11.10	1/24

(2-2)

(第3表－2)

観測所名	第 4 位			第 5 位			備 考
宮古島地方気象台							
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
昭和49年～平成18年							
最大日雨量 (mm)	322	85.8.16	1/28	283.5	88.4.28	1/15	
最大時間雨量 (mm)	91.2	57.6.18	1/13	90.0	85.12.6	1/12	
最大4時間雨量 (mm)	160.3	54.6.11	1/12	152.5	86.11.1	1/9	
最大連続雨量 (mm)	475.0	91.9.26	1/18	474.0	66.6.13	1/17	
最大連続干天日数(日)	49.0	57.8.17	1/20	45.0	42.11.17	1/13	

2. 海象 【該当なし】

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表－1－1)

事業名	地目	田			畑・その他							受益地標高		備考
	傾斜	1／1000	～	1/1.5	3°	3°	8° ～15°		15°	20°	計	最高 (m)	最低 (m)	
	区分	以下		以上	以下	8°	8° ～10°	10° ～15°	～20°	以上				
区画整理	面積 (ha)				(48.3) 49.8	(7.4) 4.8		(0.4) 0.2		0	(56.1) 54.8	(73.0) 73	(55.0) 55	
	比率 (%)				(86.1) 90.9%	(13.2) 8.8%		(0.7) 0.3%	(0.0) 0.0%	(0.0) 0.0%	100.0 100%			
	面積 (ha)													
	比率 (%)													
合計	面積 (ha)				(48.3) 49.8	(7.4) 4.8		(0.4) 0.2		0	(56.1) 54.8	73	55	
	比率 (%)				(86.1) 90.9%	(13.2) 8.8%		(0.7) 0.3%	(0.0) 0.0%	(0.0) 0.0%	100.0 100%			

(第4表－1－2)

土壌系統名	項目	土 壌 系 統 区 分 一 覧 表								面積(ha)			備考		
		土 壌 断 面							堆積様式	母材	事業名				
		色	腐植	れき層	酸化沈澱物	土 性					泥炭層 黒泥層 及びグライ層	区画整理		水農業施設 用排水	計
						表土	下層土								
						一層	二層	三層							
池原統	褐色								岩 琉球石灰	(6.5ha) 7.3ha		(6.5ha) 7.3ha	アルカリ性		
多良間統	褐色								岩 琉球石灰	(34.4ha) 33.1ha		(34.4ha) 33.1ha	アルカリ性		
摩文仁統	褐色								岩 琉球石灰	(7.6ha) 6.4ha		(7.6ha) 6.4ha	アルカリ性		
稲嶺統	暗褐色								岩 琉球石灰	(6.3ha) 6.6ha		(6.3ha) 6.6ha	アルカリ性		
長間統	黄褐色								岩 琉球石灰	(1.3ha) 1.4ha		(1.3ha) 1.4ha	アルカリ性		
計												(56.1ha) 54.8ha			

(2-1)

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度			
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上
	面積(ha)								
	比率(%)								

(2-2)

(第4表-1-3)

事業名	区分	ガリ浸食の程度		備考
		中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)			
	比率(%)			

2. 土地分類【該当なし】

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地		
		※	3° ～ 8° (ha)	8° ～ 12° (ha)	12° ～ 15° (ha)	※	15° ～ 20° (ha)	20° ～ 25° (ha)	25° ～ 30° (ha)	※ 30° 以上 (ha)		
宮古島市												※は傾斜以外の要因によるもの
計												

(第4表-2-2)

級地名 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(令和7年 02月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地								山林		採草放牧地 (ha)	原野	その他 (ha)	計 (ha)
		水 田		普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	洋材木 (ha)	薪炭林 (ha)				
		1毛作田 (ha)	2毛作田以上 (ha)												
区画整理	宮古島市			(54.7) 53.3									0.1	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8
				(54.7) 53.3									0.1	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8
	計			(54.7) 53.3									0.1	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8
合計				(54.7) 53.3									0.1	(1.4) 1.4	(56.1) 54.8

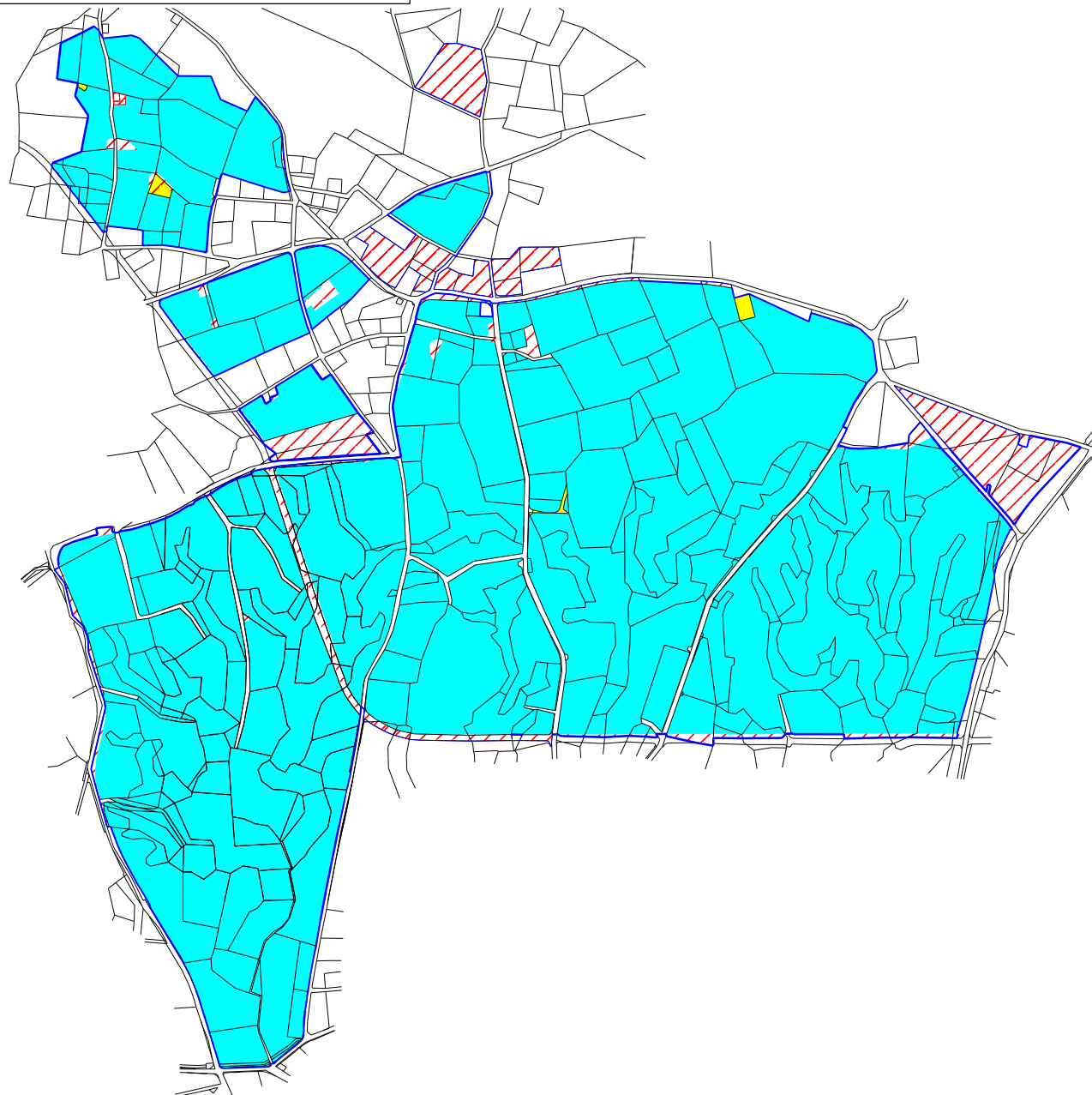
4. 土地所有の状況

(令和7年 02月現在) (第4表－4)

事業名	所有別 区分	個人有地	企業有地	市町村有地	国有地	その他	計	備 考
区画整理	面 積 (ha)	(53.7) 52.3	(1.0) 0.8	(1.4) 1.7	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(56.1) 54.8	
	受益者数	(75) 83	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(76) 85	
	筆 数	(283) 303	(6) 7	(56) 107	(0) 0	(0) 1	(345) 418	
	権 利 関 係	所有、使用賃貸 権	使用賃貸権					
	備考(関係戸数)	(75) 93	(1) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(76) 97	
合 計	面 積 (ha)	(53.7) 52.3	(1.0) 0.8	(1.4) 1.7	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(56.1) 54.8	
	受益者数	(75) 83	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(76) 85	
	筆 数	(283) 303	(6) 7	(56) 107	(0) 0	(0) 1	(345) 418	
	権 利 関 係	所有、使用賃貸 権	使用賃貸権					
	備考(関係戸数)	(75) 93	(1) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(76) 97	

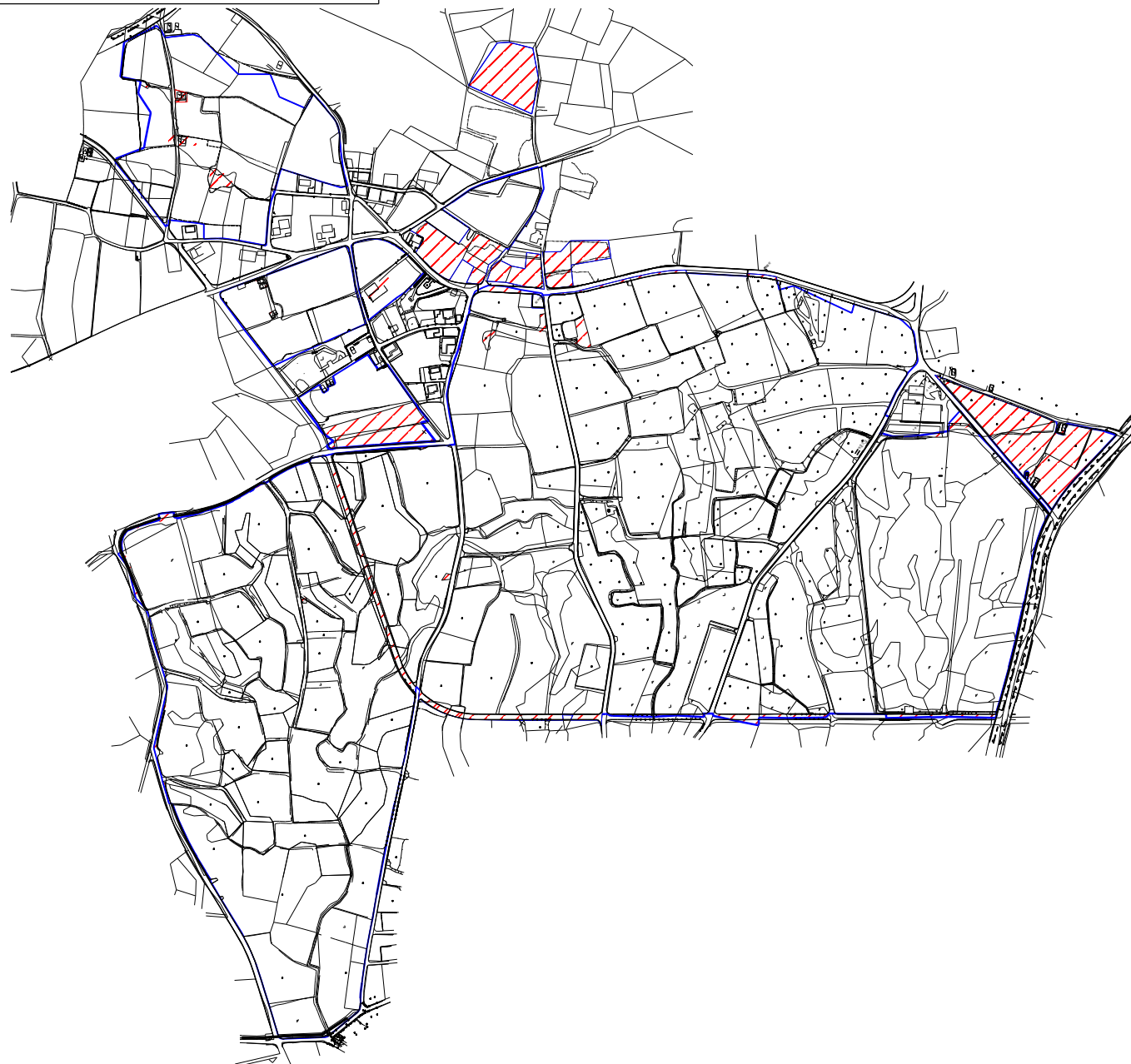
令和3年度 水利施設等保全高度化事業 農地整備事業(畑地帯総合整備型)

真良瀬嶺地区 土地利用現況図



凡 例		
	地 区 界	面積 (ha)
	除 外 地	
	畑	53.3
	原 野	0.1
	山 林	0.0

真良瀬嶺地区 現況平面図



凡 例	
	地 区 界
	除 外 地
	ほ場番号 ほ場面積
	ほ 場
	農道・耕作道
	水 兼 農 道
	集水・排水路
	浸透池
	石 積
	グリーンベルト

第3節 水利状況

1. 用水状況 【該当なし】

(1) 用水系統

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(2-1)

(第5表-1)

事業名	項目	かんがい面積						計	
		ha以上		～ ha		ha未満			
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	貯水池								
	井堰								
	自然取水口								
	揚水機								
	用水路								
	その他								
	計								
	計								
合 計									

(2-2)

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
	貯水池						
	井堰						
	自然取水口						
	揚水機						
	用水路						
	その他						
	計						
	計						
合 計							

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	計							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(2-1)

(第5表-3-1)

事業名	項 目	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千 m^3)	不 足 水 量			
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量	
				平 均 (m^3/s)	基準年 (m^3/s)	平 均 (千 m^3)	基準年 (千 m^3)
	系統名						
	計						
	計						
	計						
合 計							

(2-2)

(第5表-3-1)

事業名	項 目	平均減産量		備 考
		(t)		
		作物名	減産量 (t)	
	系統名			
	計			
	計			
合 計				

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面 積 (ha)	水温 (℃)		水質	被害量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(2-1)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)		
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設
	計						
	計						
合 計							

(2-2)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害額（百万円）			備 考
	公 共 施 設	家 屋 その他	計	
合 計				

2. 排水状況【該当なし】

(1) 排水系統

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(2-1)

(第5表－4)

事業名	項 目		排 水 面 積					
			ha以上		～		ha未満	
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	自然	排 水 路						
		水 門						
	機械	排 水 機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	合 計							

(2-2)

(第5表－4)

事業名	項 目		計		排水慣行	現況排水能力	備 考
			箇所	ha	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
	自然	排 水 路					
		水 門					
	機械	排 水 機					
		水門及び排水機					
		排水路及び排水機					
	計						
	合 計						

(イ) 改修を要する施設一覧表

(2-1)

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模
	施設名					
農用地保全	自然	排 水 路				
		水 門				
	機械	排 水 機				
		水門及び排水機				
	計					
合 計						

(2-2)

(第5表-5)

事業名	項 目		新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名				
農用地保全	自然	排 水 路			
		水 門			
	機 械	排 水 機			
		水門及び排水機			
		排水路及び排水機			
	計				
合 計					

(3) 排水に関する被害状況 【該当なし】

(2-1)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛 水 状 況				乾湿状況(ha)	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田	
								乾	湿
			平均						
			基準年						
	計		平均						
			基準年						
合計			平均						
			基準年						

(2-2)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	乾湿状況(ha)				平 均 減産量		備 考
		畑		その他		作物名	減産物 (t)	
		乾	湿	乾	湿			
	計							
合計								

3. 河川状況 【該当なし】

(1) 河川状況

(2-1)

(第5表-7)

項 目	流 路 状 況	勾 配	断 面	計 画 洪 水 量 (m^3/s)
河 川 名				

(2-2)

(第5表-7)

項 目	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
河 川 名		

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項 目	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
区 分					
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額					

第4節 道 路 概 況

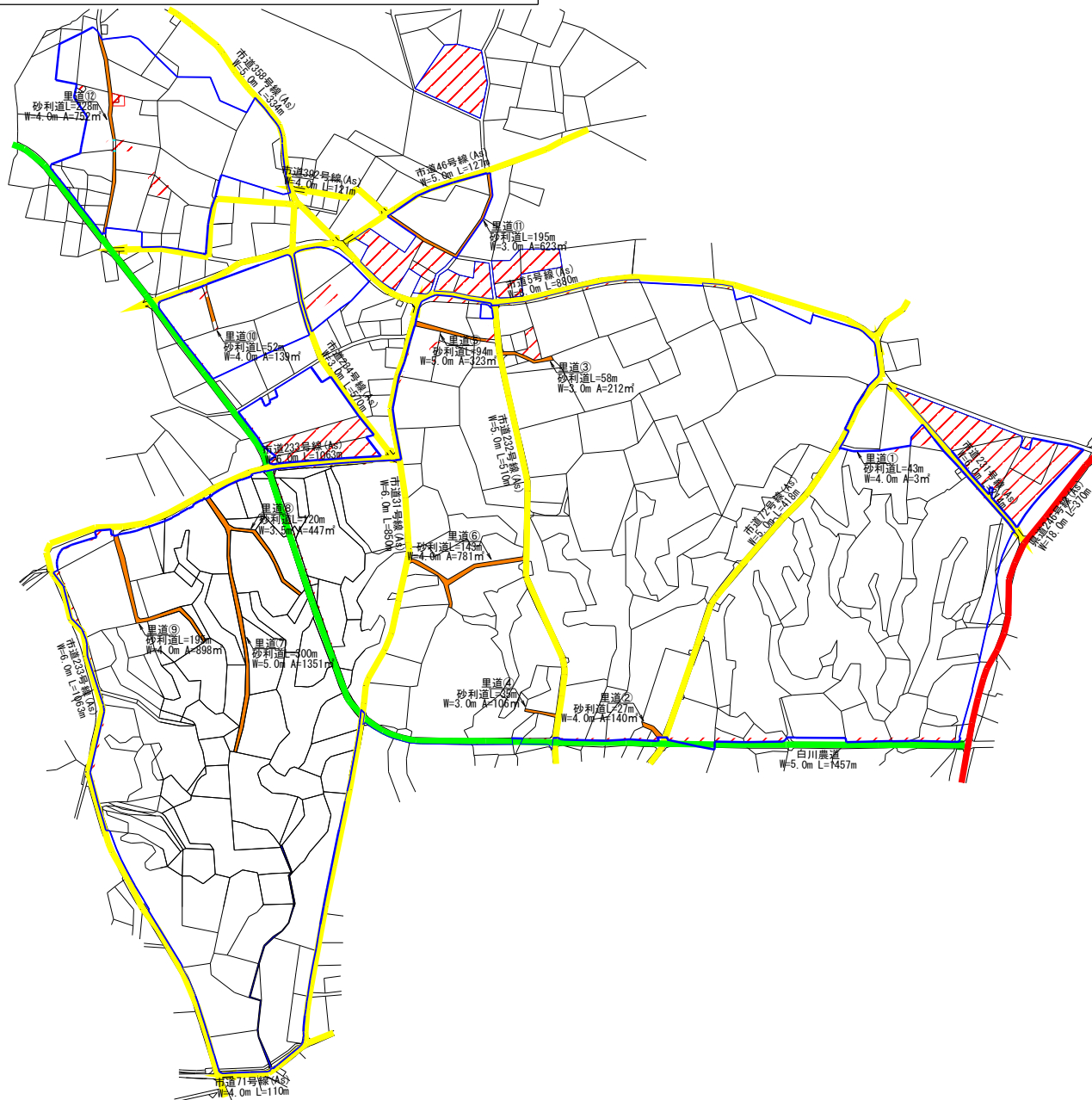
1. 道路概況 {別紙 現況道路模式図}

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理区分別 (m)	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備 考
				全幅	有効			
1	市道31号線	宮古島市	850	6.0		As舗装		施行地域内
2	市道232号線	宮古島市	510	5.0		As舗装		施行地域内
3	市道72号線	宮古島市	418	5.0		As舗装		施行地域内
4	市道231号線	宮古島市	214	6.0		As舗装		施行地域外
5	市道5号線	宮古島市	880	8.0		As舗装		施行地域外
6	市道233号線	宮古島市	1063	6.0		As舗装		施行地域外
7	市道71号線	宮古島市	100	5.0		As舗装		施行地域外
8	市道234号線	宮古島市	570	3.0		As舗装		施行地域外
9	市道358号線	宮古島市	334	5.0		As舗装		施行地域外
10	市道46号線	宮古島市	127	5.0		As舗装		施行地域外
11	県道246号線	沖縄県	370	18.0		As舗装		施行地域外
12	里道①	宮古島市	69	4.0		石粉		施行地域内
13	里道②	宮古島市	27	4.0		石粉		施行地域内
14	里道③	宮古島市	58	3.0		石粉		施行地域内
15	里道④	宮古島市	35	3.0		石粉		施行地域内
16	里道⑤	宮古島市	94	5.0		石粉		施行地域内
17	里道⑥	宮古島市	143	4.0		石粉		施行地域内
18	里道⑦	宮古島市	300	5.0		石粉		施行地域内
19	里道⑧	宮古島市	120	3.5		石粉		施行地域内
20	里道⑨	宮古島市	195	4.0		石粉		施行地域内
21	里道⑩	宮古島市	52	4.0		石粉		施行地域内
22	里道⑪	宮古島市	195	3.0		石粉		施行地域内
23	里道⑫	宮古島市	228	4.0		石粉		施行地域内
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								

真良瀬嶺地区 現況道路模式図



凡 例	
	地 区 界
	除 外 地
	県 道
	市 道
	農 道
	里 道

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(2-1)

(第7表-1)

項 目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給水 道業
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
宮古島市	24,407	3,529	26	188	14	2,492	981	86
計	24,407	3,529	26	188	14	2,492	981	86
比率(%)	100	14.5%	0.1%	0.8%	0.1%	10.2%	4.0%	0.4%

(2-2)

(第7表-1)

項 目	運輸 通信業	卸売小売 業飲食店	金融 保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
宮古島市	1,093	2,570	222	392	9,841	2,127	846	
計	1,093	2,570	222	392	9,841	2,127	846	
比率(%)	4.5%	10.5%	0.9%	1.6%	40.3%	8.7%	3.5%	

(統計みやこじま(令和4年度版))

資料: 令和2年国勢調査

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(3-1)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数(戸)							
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0
宮古島市	3,891	59	219	779	802	552	651	392	147
計	3,891	59	219	779	802	552	651	392	147
比率(%)		1.5%	5.6%	20.0%	20.6%	14.2%	16.7%	10.1%	3.8%

(3-2)

(第7表-2)

区分 市町村名	経営耕地広狭別農家数(戸)			1戸当たり平均 農用地面積(ha)					
	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計
宮古島市	12	4	274	-	1.8	0.6	2.4	1.5	3.9
計	12	4	274	-	1.8	0.6	2.4	1.5	3.9
比率(%)	0.3%	0.1%	7.0%	-	47%	16%	62%	38%	100%

(3-3)

(第7表-2)

区分 市町村名	耕 地 の 分散状況		専 兼 業 別 農 家 数 (戸)			備 考
	一戸当 り団地数	団地当 り面積 (ha)	専業	兼 業		
				第一種	第二種	
宮古島市	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	-	
比率(%)	-	-	-	-	-	

(2020年世界農林業センサス)

農林業センサス2020 調査項目の削除により統計無し

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(3-1)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							
	乗用型トラクター		歩行用トラクター		ハーベスター		動力噴霧機	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)
宮古島市	-	-	-	-	165	-	-	-
計	-	-	-	-	165	-	-	-
100戸当たり 数量(台、頭)	-		-		-		-	
利用戸数 割合(%)								

(宮古の農林水産業R4.3 p29)

(3-2)

(第7表-3)

項目 市町村名	主要家畜							
	肉用牛		豚		採卵鶏		山羊	
	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)
宮古島市	9,790	619	460	9	32,877	31	771	110
計	9,790	619	460	9	32,877	31	771	110
100戸当たり 数量(台、頭)	1,582		5,111		106,055		701	
利用戸数 割合(%)								

(3-3)

(第7表-3)

項目 市町村名	備考
宮古島市	
計	
100戸当たり 数量(台、頭)	
利用戸数 割合(%)	

(宮古の農林水産業R4.3 p38)

4. 主要作物付状況

(2-1)

(第7表－4)

市 町 村 名			宮古島市				計	平均
総耕地面積(ha)			10,600					
総本地面積(ha)								
区 分 作 物 名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)
田	表 作	-	-	-			-	-
	裏 作	-	-	-			-	-
	小 計		-				-	
畑	基幹	サトウキビ	5,563	5,938			5,563	5,938
	葉たばこ	葉たばこ	407	234			407	234
	野菜	野菜類	-	-			0	0
	果樹	果樹	82	1,002			82	1,002
	小 計							
樹園地								
	小 計							
計								
市町村別延べ作付率(%)								

(2-2)

(第7表－4)

市町村名			作 付 率 (%)	備 考
総耕地面積(ha)				
総本地面積(ha)				
区 分				
作 物 名				
田	表 作	-	-	
	裏 作	-	-	
	小 計		-	
畑	基幹	サトウキビ	-	
	葉たばこ	葉たばこ	-	
	野菜	野菜類	-	
	果樹	果樹	-	
	小 計		-	
樹園地				
	小 計			
計				
市町村別延べ作付率(%)				

(宮古の農林水産業(R4.3p11.12))

5. 農業の動向

(2-1)

(第7表－5)

区 分 \ 項 目	農 家			土 地			主 要 作 物		
		B	A		B	A	作物名	B	A
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	114	92	耕 地	106	86	さとうきび		
	専業農家	109	－	田	－	－	飼育作物		
	第一種兼業 農 家 数	62	－	畑	107	86	葉たばこ		
	第二種兼業 農 家 数	151	－	樹園地	100	62	かぼちゃ		
	農 業 従事者数	96	71				マンゴー	106	－
変化の理由									

農

(2-2)

(第7表－5)

区 分 \ 項 目	大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100 とする指数)	肉用牛	77	77	トラクター (24PS未満)			過疎地域	A: 令和2年 (2020年農林業センサス)
				トラクター (24PS以上)				B: 平成27年 (2015年世界農林業センサス)
				さとうきび 刈取機				C: 平成22年 (2010年世界農林業センサス)
								〔主要作物・動力農 機具〕宮古の農林水 産業(令和2年産・平 成27年産・22年産)
変化の理由								

(2010-2020農林業センサス)

第6節 地域環境の状況

(1) 真良瀬嶺地区の環境概要

当該地区一帯は、さとうきびを主体とした畑地帯であり、下記に該当する項目はないものの、地区に隣接する山林・原野と農地からなる空間は、多くの動植物や野鳥、昆虫を育む豊かな生態系を造っている。

(2) 宮古島市の環境概要

(第7表-6)

環境要素		項目	特記事項・概略説明		
植 物		貴重種	群 落	0 種	該当なし
自然環境	動 物	哺乳類	貴重種	0 種	該当なし
		鳥類	貴重種	最大47 種	カラスバト、キンバト、イイジマムシクイ、アカヒゲなど
		爬虫類	貴重種	最大6 種	キシノウエトカゲ、ミヤコカナヘビ、ミヤコトカゲ、サキシマアオヘビなど
		両生類	貴重種	最大3 種	ミヤコヒキガエル、ヒメアマガエル、サキシマヌマガエル
		昆虫類	貴重種	最大9 種	ツマグロゼミ、コガタノゲンゴロウ、ミヤコマトボタル等
		甲殻類	貴重種	最大2 種	オカヤドカリ類、ミヤコサワガニ
		淡水魚類	貴重種	0 種	該当なし
社会環境	法的規制	自然公園地域		該 当	有 無
		自然環境保全地域		該当なし	
		鳥獣特別保護地区		該当なし	
		風致地区		該当なし	
	文化的規制	史跡	・国指定	0 件	・県指定 0 件 ・市町村指定 1 件
		名勝	国指定		該当なし
			県指定		該当なし
			市町村指定		該当なし
		天然記念物	国指定		6件 オカヤドカリ類、カラスバト、キンバト、キシノウエトカゲ、イイジマムシクイ、アカヒゲ
			県指定		2件 ミヤコサワガニ、ミヤコカナヘビ
			市町村指定		1件 ツマグロゼミ
		埋蔵文化財包蔵地		該当なし	
	土地利用に関する規制	農業振興地域		19,558 ha	
		農用地区域		11,542 ha	
		森林地域		3,262 ha	
		地域森林計画対象民有林		3,262 ha	
		保安林		1,112 ha	
	水利用状況	河川区域(二級河川)		該当なし	
		河川区域(準用河川)		該当なし	
		湧水・井戸		該当なし	

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業は、ほ場区画の整形化と併せて機械化農業に必要な地区内農道を整備し、さらに必要な耕土深を確保することで農業生産基盤の向上を図り、営農意欲を向上させることで地域農業を活性化させ、農業の持続的発展を図ることを目的とするものである。本地区においては、区画整備54.8ha(整地工A=48.9ha、水兼農道L=4,602.67m、農道工L=313.1m、排水路工L=1,361.4m、防災工一式(浸透池6ヶ所)を計画するのである。

2. 事業別面積

(2-1) (第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理					
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
区画整理		(50.4) 48.9			(5.7) 5.9	(56.1) 54.8
計		(50.4) 48.9			(5.7) 5.9	(56.1) 54.8

(2-2) (第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用排水施設						計	備考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園		小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	
							(56.1) 54.8	
計							(56.1) 54.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区への計画作物は、施設整備後、農業用水の安定供給が可能となり、単集の増、高収益性作物への転換が見込まれることから、基幹作物のサトウキビを中心に、施設作物、路地野菜、牧草を作付けする営農計画とする。

2. 土地利用区分

(2-1)

(第9表－1)

事業名	土地利用区分	田	輪耕換地	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
区画整理	現況			(54.7) 53.3					(54.7) 53.3
	計画			(50.4) 48.9					(50.4) 48.9
計	現況			(54.7) 53.3					(54.7) 53.3
	計画			(50.4) 48.9					(50.4) 48.9

(2-2)

(第9表－1)

事業名	土地利用区分	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況	(0.0) 0.1		(1.4) 1.4	(56.1) 54.8	
	計画			(5.7) 5.9	(56.1) 54.8	
計	現況			(1.4) 1.4	(56.1) 54.8	
	計画			(5.7) 5.9	(56.1) 54.8	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区 画 整 理	現 況	さとうきび	普通畑	◎	—	◎					△	△				
		葉たばこ	普通畑	△	—	—	◎	—	◎	—	—	—	—	—	—	
		牧草	普通畑	—	—	◎	—	◎	◎	—	◎	—	◎	—	◎	
	計 画	さとうきび (夏植)	普通畑	◎	—	◎	—	—	—	—	△	△	—	—	—	
		さとうきび (春植)	普通畑	◎	△	△ ◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		さとうきび (株出)	普通畑	◎	—	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		飼料作物	普通畑	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	—	
		葉たばこ	普通畑	△	—	—	◎	—	◎	—	—	—	—	—	—	
		カボチャ (1期)	普通畑	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	◎	
		カボチャ (2期)	普通畑	△	—	—	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	
		かんしょ	普通畑	—	◎	◎	—	—	—	—	△	△	—	—	—	
		にがうり	普通畑	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	—	△	△	◎	
		とうがん	普通畑	—	—	—	—	—	◎	—	—	—	△	△	—	
		さやいんげん	普通畑	◎	—	◎	◎	◎	—	—	—	—	○	○	◎	
		ちんげんさい	普通畑	—	—	—	—	—	—	△	◎△	◎	—	—	—	
		マンゴー	普通畑	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—	—	

○ — ○ : 播種 △ — △ : 移植(定植) ◎ — ◎ : 収穫

4. 生産計画

(2-1)

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)		
	土地 利用区分			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減
区画整理	普通畑	(夏植)	さとうきび	14.5	26.0	11.5	27.2	50.5	5,990	8,985	2,995
		(春植)	さとうきび	2.7	1.0	△ 1.7	5.1	1.9	4,058	6,087	2,029
		(株出)	さとうきび	21.9	7.2	△ 14.7	41.1	14.0	4,405	6,608	2,203
			飼料作物	13.1	4.9	△ 8.2	24.6	9.5	9,601	11,521	1,920
			葉たばこ	1.1	3.3	2.2	2.1	6.4	207	224	17
		(Ⅰ期)	かぼちゃ	0.0	2.5	2.5	0.0	4.9	549	631	82
		(Ⅱ期)	かぼちゃ	0.0	2.5	2.5	0.0	4.9	549	631	82
			かんしょ	0.0	0.6	0.6	0.0	1.2	1,032	1,187	155
		計		53.3	48.0	△ 5.3	100.0	93.1	26,391	35,874	9,483
	施設畑		にがうり	0.0	1.3	1.3	0.0	2.5	0	6,074	6,074
			とうがん	0.0	0.6	0.6	0.0	1.2	0	12,337	12,337
			さやいんげん	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0	1,930	1,930
			ちんげんさい	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0	1,342	1,342
			マンゴー	0.0	1.4	1.4	0.0	2.7	0	1,222	1,222
	計			0.0	3.5	3.5	0.0	6.9			
合 計			53.3	51.5	△ 1.8	100.0	100.0				

(2-2)

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
	土地 利用区分			現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
区画整理	普通畑	(夏植)	さとうきび	434	1168.0	734.0	341.4	389	作付率 50%
		(春植)	さとうきび	55	30.0	△ 25.0	-69.0	10	
		(株出)	さとうきび	482	238.0	△ 244.0	-971.4	79	
			飼料作物	629	282.0	△ 347.0	-944.7	47	
			葉たばこ	1	4.0	3.0	4.9	0	
		(Ⅰ期)	かぼちゃ	0	8.0	8.0	31.6	1	
		(Ⅱ期)	かぼちゃ	0	8.0	8.0	31.6	1	
			かんしょ	0	4.0	4.0	7.1	0	
		計		1601.0	1742.0	141.0			
	施設畑		にがうり	0.0	39.0	39.0	60.7	0	建坪率 80%
			とうがん	0.0	37.0	37.0	61.7	0	〃
			さやいんげん	0.0	1.0	1.0	1.9	0	〃
			ちんげんさい	0.0	1.0	1.0	1.3	0	〃
			マンゴー	0.0	9.0	9.0	13.4	0	〃
	計			0.0	87.0				
合 計			1601.0	1829.0					

5. 労働改善計画

(畑地かんがいに係る省力化)

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考		
				区分	現況	計画	増減			
区画整理・農業用排水施設	普通畑	さとうきび (夏植)	12.9	人 力	24.6	15.8	-9			
				機械力	16.4	6.0	-10			
		さとうきび (春植)	1.0	人 力	24.6	10.5	-14			
				機械力	16.4	3.7	-13			
		さとうきび (株出)	7.1	人 力	24.6	10.9	-14			
				機械力	16.4	3.8	-13			
		葉たばこ	3.2	人 力	285.4	4.6	-281			
				機械力	148.9	1.0	-148			
		飼料作物	4.8	人 力	0.0	9.4	9			
				機械力	0.0	4.0	4			
		かぼちゃ (Ⅰ期)	2.5	人 力	524.4	5.0	-519			
				機械力	274.6	1.2	-273			
		かぼちゃ (Ⅱ期)	2.5	人 力	524.4	3.3	-521			
				機械力	274.6	0.5	-274			
		かんしょ	0.6	人 力	299.6	6.9	-293			
				機械力	155.4	2.1	-153			
		計		34.6						
		合 計		34.6						

(区画整理に係る省力化)

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理・農業用排水施設	普通畑	さとうきび (夏植)	12.9	人 力	1616.0	39.9	-1576	
				機械力	212.1	62.2	-150	
		さとうきび (春植)	1.0	人 力	1333.4	37.0	-1296	
				機械力	151.1	46.7	-104	
		さとうきび (株出)	7.1	人 力	1338.5	33.2	-1305	
				機械力	66.0	38.9	-27	
		葉たばこ	3.2	人 力	587.0	343.4	-244	
				機械力	393.7	189.4	-204	
		飼料作物	4.8	人 力	1.3	1.1	0	
				機械力	50.4	44.7	-6	
		かぼちゃ (Ⅰ期)	2.5	人 力	1108.8	813.6	-295	
				機械力	226.4	73.6	-153	
		かぼちゃ (Ⅱ期)	2.5	人 力	1231.6	936.2	-295	
				機械力	197.2	41.8	-155	
		かんしょ	0.6	人 力	1370.4	1141.6	-229	
				機械力	95.1	57.2	-38	
計		34.6						
合 計		34.6						

6. 級地別土地利用区分 【該当なし】

(2-1)

(第9表-5)

土地 利用区分		区分 級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)		
			一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地
農 地	田									
	輪換耕地									
	畑									
	(普通畑)									
	(牧草畑)									
	樹園地									
	(果樹園)									
	(桑園)									
そ の 他										
計										

(2-2)

(第9表-5)

土地 利用区分		区分 級地名	干 拓 (ha)		合 計
			四級地	計	
農 地	田				
	輪換耕地				
	畑				
	(普通畑)				
	(牧草畑)				
	樹園地				
	(果樹園)				
	(桑園)				
そ の 他					
計					

7. 土地配分計画 【該当なし】

(2-1)

(第9表－6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)				
		田	輪換耕地	畑		
				普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地
増 反		()	()	()	()	()
入 植		()	()	()	()	()

(2-2)

(第9表－6)

項目 区分				備 考
			計	
増 反	()	()	()	
入 植	()	()	()	

第3節 用水計画 【該当なし】

1. 計画基準年

2. 計画かんがい方式

3. 計画用水系統

4. 計画用水量 該当なし

(1) かんがい用水

(2-1)

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用		
		事業名								
		農業 用排水 施設		計	普通畑	代かき期	面 積 (ha)	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面 積 (ha)
					計画平均 単位用水量 (mm/日)	計画代かき 単位用水量 (mm/日)				
計										

(2-2)

(第10表-1-1)

系統名 項目	畑地かんがい			その他		消費 水量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備考
	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	単位用水量 計画平均 (mm/日)	面 積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
計										

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単 位 給水量 (リットル/日)	最 大 給水量 (リットル/日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(2-1)

(第10表-2)

項 目 区分	消費水量 a (千m ³)	有効雨量 b (千m ³)	純用水量 c = a - b (千m ³)	粗用水量 d = $\frac{c}{(1-a)}$ (千m ³)	現況利用可能水量		
					水源名 (千m ³)	取水地点 利用可能量 (千m ³)	ほ場利用 可 能 量 (千m ³)
						e (千m ³)	f (千m ³)
計							

(2-2)

(第10表-2)

項 目 区分	不足水量		水源依存量		水源 工種	備 考
	純不足 水 量 g = c - f (千m ³)	全不足 水 量 h = d - e (千m ³)	水源名	水 量 (千m ³)		
						損失率: α
計						

(ウ) 揚水機

(2-1)

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)	
		事業名			最大	平均
				計		

(2-2)

(第10表-5)

項目 名称	揚水機				備考
	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	

(エ) 用水路

(2-1)

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)
	事業名				
			計		
計					

(2-2)

(第10表-6)

項目 名称	構造	備考
計		

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(2-1)

(第10表-3)

項 目 貯水池名	流域面積 (km ²)		か ん が い 面 積 (ha)			純 貯 水 量 (千m ³)
			事 業 名			
	直接	間接			計	

(2-2)

(第10表-3)

項目 貯水池名	利用貯水量 (km^3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m^3/s)	備考

(イ) 井堰及び自然取入口

(2-1)

(第10表-4)

項目 取水 施設名	河川名	流域面積 (km^2)	かんがい面積 (ha)		
			事業名		
					計
計					

(2-2)

(第10表-4)

項目 貯水池名	取水量 (m^3/s)		渇水量 (m^3/s)	備考
	最大	平均		
計				

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 1/10年確率時間雨量 154 mm/hr

2. 計画排水方式 自然排水方式

3. 計画排水系統 {別紙 計画排水系統模式図}

4. 計画排水量

(2-1)

(第11表－1)

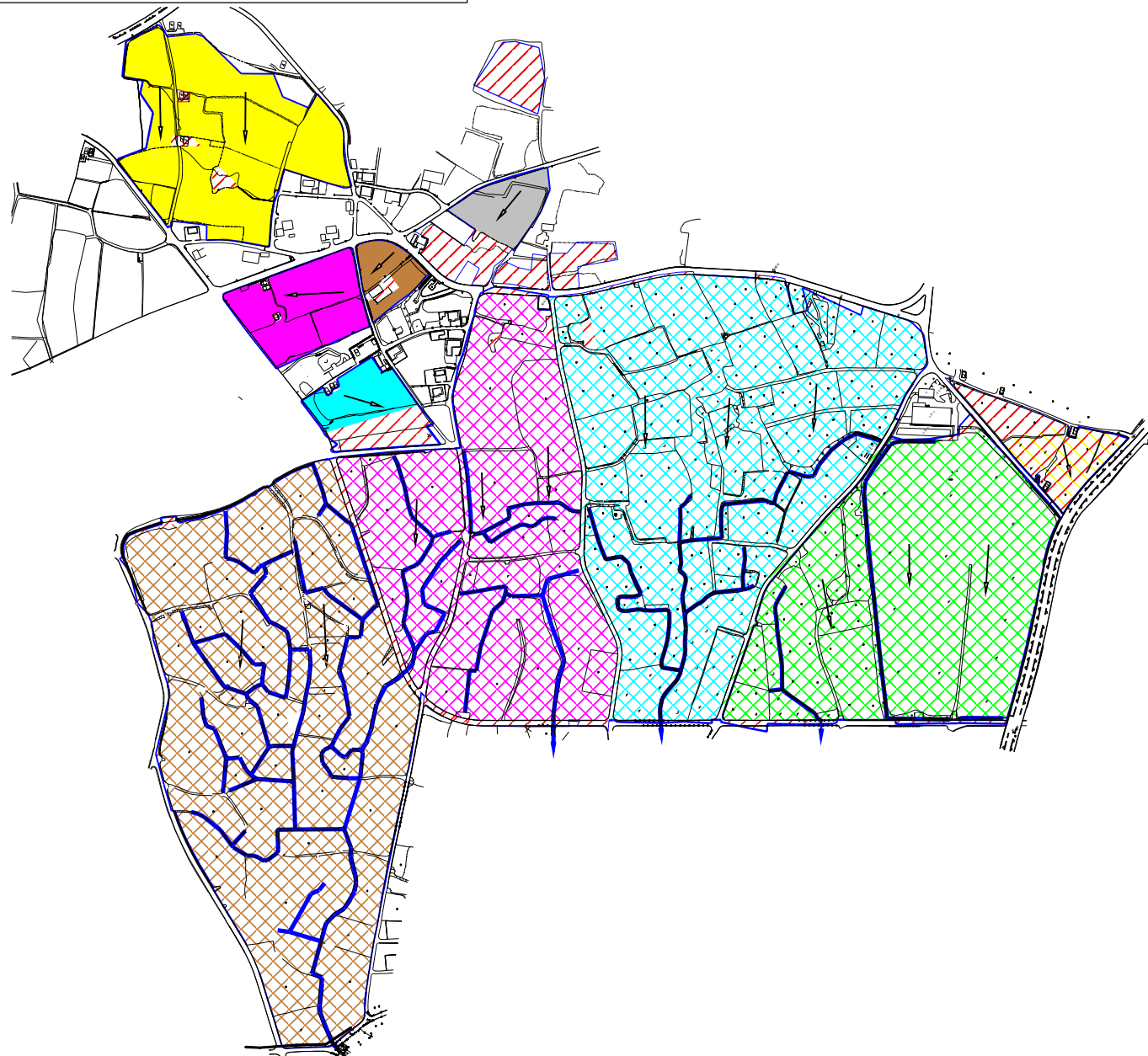
項 目 排水系統名	受 益 面 積 (ha)			流域面積 (km ²)		基 準 雨 量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)	
	事業名							
	区画整理		計	山地	平地		山地	平地
真良瀬嶺地区	(50.4) 48.9		(50.4) 48.9		(0.572) 0.537	154.0		(27.80) 20.55
計	(50.4) 48.9		(50.4) 48.9		(0.572) 0.537	－ －	－ －	－ －

(2-2)

(第11表－1)

項 目 排水系統名	基底流出量		全排水量(m3/s)			単位排水量		備考
	(m3/s/km2)		山地	平地		(m3/s/km2)		
	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
				(15.90) 11.04			(27.80) 20.55	
計	－ －	－ －		(15.90) 11.04			(27.80) 20.55	

真良瀬嶺地区 現況排水系統図



凡 例	面 積
地区界	
除外地	
流域方向	
既設水路	
既設沈砂池	9.3ha
既設沈砂池へ	13.3ha
既設沈砂池へ	9.7ha
既設沈砂池へ	14.4ha
既設沈砂池へ	1.9ha
地下浸透	0.6ha
地下浸透	1.3ha
地下浸透	0.4ha
地下浸透	0.6ha
地下浸透	3.9ha

5. 排水対策 【該当なし】

(1) 排水水門

(2-1)

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量	
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-2)

項 目 名 称	排水本川			備 考
	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
計				

(2) 排水機

(2-1)

(第11表-3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量	
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-3)

項 目 名 称	排水機				備 考
	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
計					

(3) 排水路

(2-1)

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造
		事 業 名					
		区画整理		計			
30・1号排水路	0.15	0.15		0.15	3.180	401.4	
1・2号排水路	0.17	0.17		0.17	3.846	181.8	
1・3号排水路	0.10	0.10		0.10	2.889	142.3	
5号排水路	0.03	0.03		0.03	0.986	200.0	
2・4号排水路	0.06	0.06		0.06	1.789	178.1	
6号排水路	0.03	0.03		0.03	0.989	184.5	
7号排水路	0.01	0.01		0.01	0.339	73.3	
合計	0.56	0.56		0.5631	14.02	1361.4	

(2-2)

項 目 名 称	排 水 本 川			備 考
	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
30・1号排水路		3.180	-	
1・2号排水路		3.846	-	
1・3号排水路		2.889	-	
5号排水路		0.986	-	
2・4号排水路		1.789	-	
6号排水路		0.989	-	
7号排水路		0.339	-	
計		14.018	-	

(4) その他

【該当なし】

6. たん水検討

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(2-1)

項 目 路線名	幅 (有効)×延長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
30・1号水兼農道	5.5(4.5) × 398.6	アスファルト舗装t=4cm	市道71号へ接続	
30・2号水兼農道	5.5(4.5) × 239.9	アスファルト舗装t=4cm	30・1号水兼農道へ接続	
30・3号水兼農道	5.5(4.5) × 161.4	アスファルト舗装t=4cm	30・4号水兼農道へ接続	
30・4号水兼農道	5.5(4.5) × 130.7	アスファルト舗装t=4cm	白川農道へ接続	
1・5号水兼農道	5.5(4.5) × 174.6	アスファルト舗装t=4cm	白川農道へ接続	
1・6号水兼農道	5.5(4.5) × 134	アスファルト舗装t=4cm	市道31号へ接続	
1・7号水兼農道	5.5(4.5) × 177.8	アスファルト舗装t=4cm	白川農道へ接続	
1・8号水兼農道	5.5(4.5) × 134.9	アスファルト舗装t=4cm	1・7号水兼農道へ接続	
2・9号水兼農道	5.5(4.5) × 174	アスファルト舗装t=4cm	1・8号水兼農道へ接続	
10号水兼農道	5.5(4.5) × 145.5	アスファルト舗装t=4cm	2号農道へ接続	
2・11号水兼農道	5.5(4.5) × 181.9	アスファルト舗装t=4cm	白川農道へ接続	
12号水兼農道	5.5(4.5) × 132.4	アスファルト舗装t=4cm	2・11号水兼農道へ接続	
1・17号水兼農道	5.5(4.5) × 104.3	アスファルト舗装t=4cm	白川農道へ接続	
1・18号水兼農道	5.5(4.5) × 168.4	アスファルト舗装t=4cm	1・17号水兼農道へ接続	
19号水兼農道	5.5(4.5) × 209.9	アスファルト舗装t=4cm	1・18号水兼農道へ接続	
2・20号水兼農道	5.5(4.5) × 104.7	アスファルト舗装t=4cm	19号水兼農道へ接続	
2・21号水兼農道	5.5(4.5) × 168.7	アスファルト舗装t=4cm	市道31号へ接続	
22号水兼農道	5.5(4.5) × 209.9	アスファルト舗装t=4cm	2・21号水兼農道へ接続	
23号水兼農道	5.5(4.5) × 143.9	アスファルト舗装t=4cm	市道72号へ接続	
2・24号水兼農道	5.5(4.5) × 200.8	アスファルト舗装t=4cm	県道246号へ接続	
1・1号水兼農道	5.5(4.5) × 107.7	アスファルト舗装t=4cm	白川農道へ接続	
1・2号水兼農道	5.5(4.5) × 319.4	アスファルト舗装t=4cm	市道358号へ接続	
1・水兼耕作道	5.5(4.5) × 98.1	アスファルト舗装t=4cm	市道5号線へ接続	
1・1号水兼耕作道	4.0(3.0) × 153.9	アスファルト舗装t=4cm	1・7号水兼農道へ接続	
2号水兼耕作道	4.0(3.0) × 194.1	アスファルト舗装t=4cm	1号農道へ接続	
2・3号水兼耕作道	4.0(3.0) × 89	アスファルト舗装t=4cm	2・11号水兼農道へ接続	
2・4号水兼耕作道	4.0(3.0) × 144.3	アスファルト舗装t=4cm	2・11号水兼農道へ接続	
水兼農道農道計	4602.8			
1号農道	5.0 × 177.7	流しコーラル t=15cm	白川農道へ接続	
2号農道	5.0 × 135.4	流しコーラル t=15cm	1号農道へ接続	
農道計	313.1			

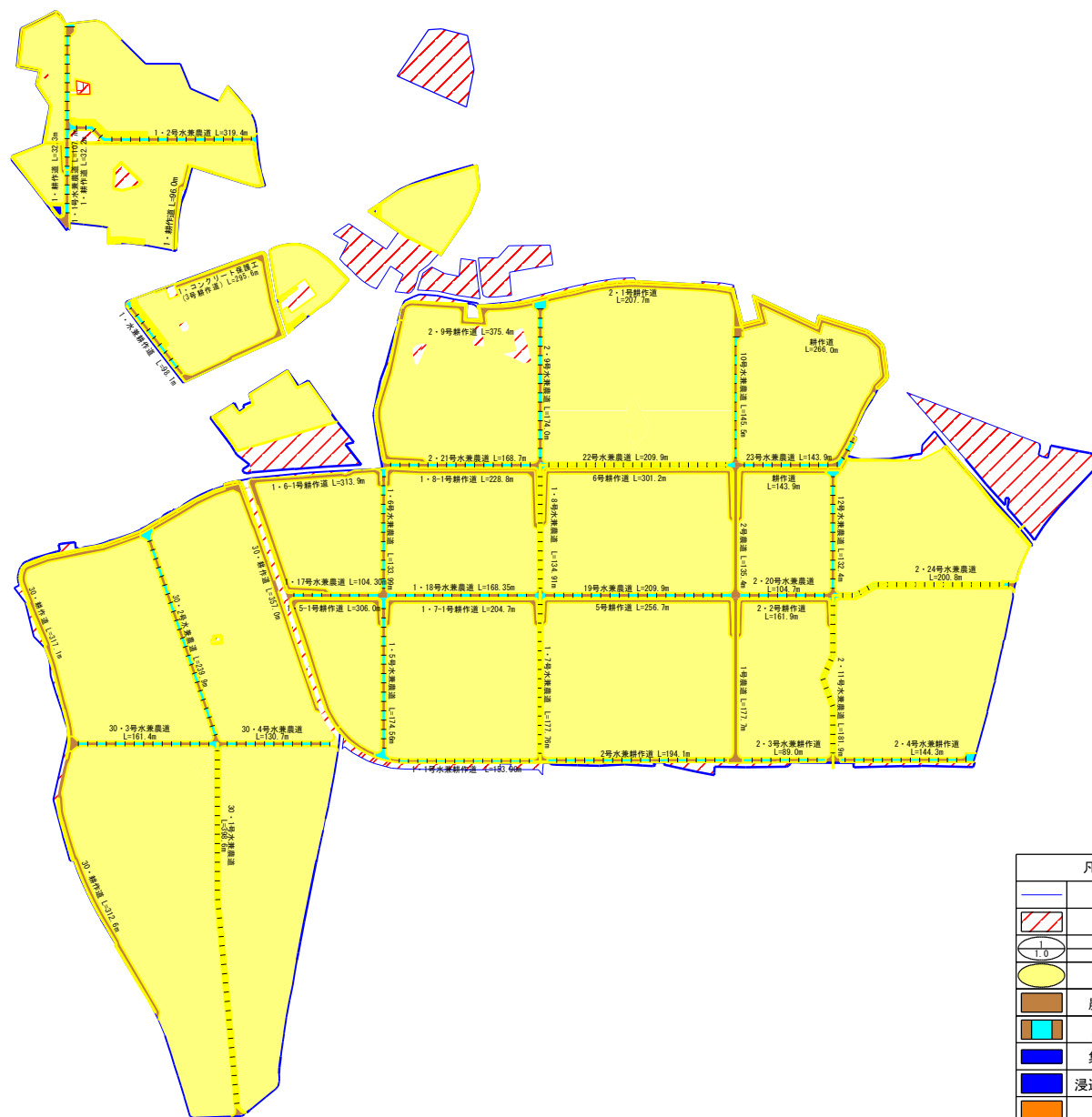
(2) 索道 【該当なし】

(第12表－2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 (別紙 道路計画平面図)

真良瀬嶺地区 農道計画平面図



路線名	幅(有効)×延長 (m)	
20・1号水兼農道	5.5(4.5)	× 398.6
30・2号水兼農道	5.5(4.5)	× 239.9
30・3号水兼農道	5.5(4.5)	× 161.4
30・4号水兼農道	5.5(4.5)	× 130.7
1・5号水兼農道	5.5(4.5)	× 174.56
1・6号水兼農道	5.5(4.5)	× 133.99
1・7号水兼農道	5.5(4.5)	× 177.76
1・8号水兼農道	5.5(4.5)	× 134.91
2・9号水兼農道	5.5(4.5)	× 174.0
10号水兼農道	5.5(4.5)	× 145.5
2・11号水兼農道	5.5(4.5)	× 181.9
12号水兼農道	5.5(4.5)	× 132.4
1・17号水兼農道	5.5(4.5)	× 104.3
1・18号水兼農道	5.5(4.5)	× 168.35
19号水兼農道	5.5(4.5)	× 209.9
2・20号水兼農道	5.5(4.5)	× 104.7
2・21号水兼農道	5.5(4.5)	× 168.7
22号水兼農道	5.5(4.5)	× 209.9
23号水兼農道	5.5(4.5)	× 143.9
2・24号水兼農道	5.5(4.5)	× 200.8
1・1号水兼耕作道	5.5(4.5)	× 107.7
1・2号水兼耕作道	5.5(4.5)	× 319.4
1・水兼耕作道	5.5(4.5)	× 98.1
1・1号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 153.9
2号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 194.1
2・3号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 89.0
2・4号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 144.3
水兼農道農道計		4602.67
1号農道	5.0	× 177.7
2号農道	5.0	× 135.4
農道計		313.1
1・5-1号耕作道	4.0	× 306.6
1・6-1号耕作道	4.0	× 313.9
1・7-1号耕作道	4.0	× 204.7
1・8-1号耕作道	4.0	× 228.8
30・耕作道	4.0	× 312.6
30・耕作道	4.0	× 317.1
30・耕作道	4.0	× 357.0
5号耕作道	4.0	× 256.7
6号耕作道	4.0	× 301.2
2・2号耕作道	4.0	× 161.9
耕作道	4.0	× 143.9
耕作道	4.0	× 266.0
2・1号耕作道	4.0	× 207.7
2・9号耕作道	4.0	× 375.4
1・耕作道	4.0	× 32.3
1・耕作道	4.0	× 32.2
1・耕作道	4.0	× 96.0
3号耕作道	4.0	× 295.6
耕作道計		4209.6

真良瀬嶺地区 現況道路模式図



第6節 農用地造成計画 【該当なし】

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表－1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道路排水計画

2. 土壌改良

(2-1)

(第13表－2)

項目 土地利用区分	面 積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	pH		置換酸度 (Y ₁)
			H ₂ O	KCl	

(2-2)

(第13表－2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
		石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画 【該当なし】

1. 計画基準雨量

2. 計画洪水量及び調節量

(2-1)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km^2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)

(2-2)

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	備考 (m^3/s)

3. 貯水池

(2-1)

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km^2)		計画洪水量 (m^3/s)	貯水量 (千 m^3)		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2)

(第14表-2)

項目 貯水池名	計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備考

4. 洪水調節検討 【該当なし】

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画 【該当なし】

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画

【該当なし】

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び 対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
200×100	(50.4) 48.9	(56.1) 54.8	(89.8) 89.2	-	
計		(56.1) 54.8			

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
(50.4) 48.9	耕土の下は流求石灰岩となっており、耕土深が浅いことから表土扱いを要する	(40) 60	(228,843) 293,400	

(3) 末端道水路配置図 {別紙 末端道水路配置図のとおり}

2. 暗渠排水

【該当なし】

(1) 暗渠排水

(2-1)

(第16表－3－1)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\text{リットル}}{\text{s}}/\text{ha}$)
	事 業 名					
			計			
計						

(2-2)

(第16表－3－1)

区分	項目	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
計				

(2) 心土破碎

(第16表－3－2)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備 考
	事 業 名					
			計			
計						

3. 客 土 【該当なし】

(2-1)

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	減水深(mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(2-2)

(第16表-4)

項目 区分	作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m^3)	土 壌 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 ($m^3/s/ha$)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
防風林				

(2) 排水工 【該当なし】

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m/s)	

(3) 浸食(崩壊)防止工 【該当なし】

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画 【該当なし】

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画

3. 取水施設改修計画

第5章 主要工事計画 【該当なし】

第1節 用水施設

1. 貯水池

(2-1) (第17表－1)

名 称			
堤 体	形 式	流域面積(km ²)	
		直接	間接
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	

(2-2) (第17表－1)

位 置						
堤高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m³)	基盤地盤 地 質	貯水量(千m³)		備 考
				総貯水量	有効貯水量	
取水施設	型 式	取水量 (m³/s)	放流施設	型 式	放流量 (m³/s)	

2. 頭首工

(2-1) (第17表－2)

名 称				位 置	
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		計	取水位 (m)
		固定部	可動部		

(2-2) (第17表－2)

名 称			備 考
形 式	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	

3. 揚水機

(2-1)

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		形式
			全揚程	実揚程	

(2-2)

(第17表-3)

項目 名称	揚水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

(2-1)

(第17表-4)

小計

(2-2)

(第17表-4)

十

第2節 排水水門

1. 排水水門

(2-1)

(第18表－1)

項目 名称	位 置	形 式	構 造	内水位 (m)	外水位 (m)
計					

(2-2)

(第18表－1)

項目 名称	排水路 (m^3/s)	備 考
計		

2. 排水機

(2-1)

(第18表－2)

項目 名称	位 置	排 水 量 (m^3/s)	揚程(m)		排水機
			全揚程	実揚程	形式

(2-2)

(第18表－2)

項目 名称	排水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

(2-1)

(第18表-3)

[illegible]

(2-2)

(第18表-3)

項目	勾 配	主要構造物	備 考
水路名			
計			

4. その他排水施設

第3節 道路及び索道 (第5章 第7節1区画整理に含むため)

1. 道路

(1) 道路の総括表

(2-1)

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) (m) ×延長 (km)	構 造	付帯構造物		
				名称	構造	名称 (個所)
計						

(2-2)

(第19表一1)

項目 区分	路線名	最急こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
計					

(2) 道路主要構造物

(第19表－2)

項目 路線名	名 称	規模構造	延 長 (m)	箇所数 (箇所)	備 考

2. 索道 該当なし

(第19表－3)

項目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原動機		備 考
				形 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成 【該当なし】

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表－1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表－2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表－3)

項目		面積 (ha)	工法	備考
区分	造成工法			
地目				
計				

(4) 地目交換

(第20表－4)

項目 区分	面積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表－5)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表－6)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 土壤改良

(第20表－7)

項目 区分	面 積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調整施設 【該当なし】

1. 貯水池

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(2-1)

(第21表－2)

名 称			位 置			
			堤 長 (m)			
形 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計	

(2-2)

(第21表－2)

名 称			備考
	計画洪水位 (m)	付帯施設	
形 式			

(2) 導水路

(2-1)

(第21表－3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計

(2-2)

(第21表－3)

項目 水路名	構 造	勾 配	備 考

第6節 干拓施設

【該当なし】

1. 堤防

(2-1)

(第22表-1)

項目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2)

(第22表-1)

項目 名 称	構 造		原地盤標高(m)		備 考
	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	

2. 潮止め

(2-1)

(第22表-2)

項目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2)

(第22表-2)

項目 名 称	最大流速 (m)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

4. 埋立

(第22表-3)

項目 区 分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m ³)	施工方法	構 造

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表－1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
真良瀬嶺	(50.4) 48.9	200×100	(323,797) 293,400	(50.4) 48.9	(228,843) 293,400	

(2) 末端用水路等

(第23表－2)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(3) 末端排水路等

(第23表－3)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
1 号 浸 透 池	1基	139m ³	石積み側壁	
2 号 浸 透 池	1基	101m ³	石積み側壁	
3 号 浸 透 池	1基	183m ³	石積み側壁	
4 号 浸 透 池	1基	133m ³	石積み側壁	
5 号 浸 透 池	1基	158m ³	石積み側壁	
6 号 浸 透 池	1基	172m ³	石積み側壁	
計	6基	886m ³		

2. 暗渠排水 【該当なし】

(1) 暗渠排水

(3-1)

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集 水 渠			
	事業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
			計				
計							

(3-2)

(第23表-4-1)

項目 区分	排水渠						名称
	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	
計							

(3-3)

(第23表-4-1)

項 目	集水渠出口以下の 排水施設		備 考
	構造	数量 (m/ha)	
区 分			
計			

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備考
計					

3. 客土 【該当なし】

(2-1)

(第23表-5)

区 分	項 目	面 積 (ha)		客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)
		事 業 名				
			計			
計						

(2-2)

(第23表-5)

区 分	項 目	運搬方法	備 考
計			

4. 除礫

(第23表-6)

区 分	項 目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m^3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

5. 農地保全

(1) 防災林

(2-1)

(第23表-7)

区 分	項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種
計					

(2-2)

(第23表-7)

区 分	項 目	植 栽 本 数 (本)	備 考
計			

(2) 排水路 (第4章 第4節1区画整理に含むため)

(第23表－8)

項目 区 分	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
排水路				
水兼農道				

(3) 浸食防止工

(第23表－9)

項目 名 称	構 造	数 量	備 考
石積畦畔工			

第8節 老朽ため池改修施設 【該当なし】

1. 貯水池

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km^2)	堤高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m^3/s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m^3)	備 考
洪水吐	形式	洪水量 (m^3/s)	規模 (m)	備 考	取水施設	形式	取水量 (m^3/s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画 【該当なし】

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	平成	28	年度
完了	平成 令和	7	年度

第8章 環境と調和への配慮

1.事業計画における配慮

事業計画の策定に当っては、環境調査結果を十分反映させた、環境への配慮に努めた計画を策定するものとする。また、浸透池の維持管理のため、土砂が堆積した時はミニシャベル(ユンボ)をバックホウで浸透池内に下して堆積土砂の除去を行い施設の管理を行う。

2.工事实施における配慮

工事实施に当っては、環境に負荷を与えるのを最小限度に抑えるための工夫を検討し、地区外への影響が出ないように留意して施工を行う。また、工事期間中は、「赤土等流出防止条例」に基づいて、仮設沈砂地等の設置、降雨時のシート被覆等により赤土等の流出防止対策を重点的に行う。

3.赤土等流出防止への配慮

工事实施においては、浸透池等の赤土等流出防止施設を先行して設置することにより、地区外への赤土等の流出を防止する等、「赤土等流出防止条例」に基づいた各種赤土等流出防止対策を重点的に行う。また、工事完了から農家に利用される間の裸地対策として、クロタリヤ等による速やかな畑地植生を施するとともに、畑の際にグリーンベルトを植栽し、農地からの赤土等流出防止に努める。

4.貴重な動植物、文化財及び景観などへの配慮

①植物の保全対策

当該地区は現況が一部原野を除き、ほとんどが農地である。文献等においては当該地域で貴重な植物は確認されていないことから、事業実施による影響はほとんどないと考えられる。

②動物の保全対策

宮古島では貴重種の生息が数種確認されており、当該地区においても貴重種が生息している可能性はあるものと思われる。工事实施に伴い貴重種が確認された場所は、すみやかに近隣に移動する等の対策を講じることとする。また動物の保護対策として、計画地区を5カ年で整備完了するように造成区域を分割して、当該造成区域内に生息する動物の周囲への避難・回避を促す整備を図る。このように、事業実施に当たっては、生息状況を見ながら環境に配慮する事項について弾力的な対応を行うこととする。

5.文化財への配慮

当該地区には特に文化財はない。

6.その他

①専門家の指導助言

調査結果、環境への配慮事項については、必要に応じて調査専門家の指導、助言をとりまとめる。

②実施・補足調査

当該地区は、既存の自然環境調査、文献等による資料収集により地区の現況把握に努めるが、不測の事態等が生じた場合は、必要に応じ補足調査を行う。

③実施・補足調査

事業実施後、自然環境が大きく変化したと認められる場合は、事後調査を行うこととする。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画の樹立に当っては、得に農用地の集団化その他農業構造の改善及び土地利用の合理化が図られるように、換地設計基準を定め、換地計画書を作成する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表－1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
真良瀬嶺	宮古島市城辺真良瀬嶺	(56.1ha) 54.8ha

2. 換地区を設定する理由

当地区は、事業施工期間として7年を予定しているので、工期に合わせて逐次計画的に換地処分を行うため、工期を基礎に土地所有状況、土地利用計画等も考慮して、1つの換地区を設定する。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表－2)

換地区名	地積の基準
真良瀬嶺	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から6ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(4-1)

(単位:ha)

(第25表-3)

換地区名 前後		用 途 (取得予定者)		非農用地区域外に換地する土地					
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計
						土地改良施設	その他	小計	
真良瀬嶺	従前の土地	(0.0) 0.0	(54.7) 53.3	(0.0) 0.1	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(54.7) 53.4
	換地	(0.0) 0.0	(50.4) 48.9	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(50.4) 48.9
合 計	従前の土地	(0.0) 0.0	(54.7) 53.3	(0.0) 0.1	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(54.7) 53.4
	換地	(0.0) 0.0	(50.4) 48.9	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(50.4) 48.9

(4-2)

(単位:ha)

(第25表-3)

換地区名 前後		用 途 (取得予定者)		非農用地区域に換地する土地					
		本事業によって生ずる土地改良施設用地			創 設農用地	合 計	特定用途用地		
		改良区	その他	計			宅地	その他	計
真良瀬嶺	従前の土地	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	－	(54.7) 53.4			
	換地	(0.0) 0.0	(4.3) 3.2	(4.3) 3.2	－	(54.7) 52.1	0.0	0.0	0.0
合 計	従前の土地	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	－	(54.7) 53.4			
	換地	(0.0) 0.0	(4.3) 3.2	(4.3) 3.2	－	(54.7) 52.1	0.0	0.0	0.0

(4-3)

(単位:ha)

(第25表-3)

用 途 (取得予定者) 換地区名 前後		非農用地区域に換地する土地							
		異種目換地	創設非農用地					合計	国
			農業経営 合理化施設用地	生活上・ 経営上必要な施設 用地	公用・公 共用施設 用地	宅地等	計		
真良瀬嶺	従前の 土地	0.0							0.0
	換地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	従前の 土地	0.0							0.0
	換地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4-4)

(単位:ha)

(第25表-3)

用 途 (取得予定者) 換地区名 前後		機能交換に係る土地			一 般 国 公 有 地	総 合 計
		県	市 町 村 他	合 計		
真良瀬嶺	従前の 土地	(0.0) 0.0	(1.4) 1.4	(1.4) 1.4	(0.0) 0.0	(56.1) 54.8
	換地	(0.0) 0.0	(1.4) 2.7	(1.4) 2.7	(0.0) 0.0	(56.1) 54.8
合 計	従前の 土地	(0.0) 0.0	(1.4) 1.4	(1.4) 1.4	(0.0) 0.0	(56.1) 54.8
	換地	(0.0) 0.0	(1.4) 2.7	(1.4) 2.7	(0.0) 0.0	(56.1) 54.8

3. 農用地集団化の方針

(第25表－4)

区 分 換地地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
真良瀬嶺	なし	各人の従前の土地が もっとも密集した位置 を中心として、概ねそ の付近に定める。	2団地以内	1.区画の設定は、原 則として長辺に沿っ て設定するが、この 場合短辺部が農地利 用に支障がないよう に留意する。 2.設定後の区画は道 路に沿うように配慮す る。

4. 非農用地換地の方法

(2-1)

(第25表－5)

区 分 換地地区	用途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m2)	換地の手法
真良瀬嶺				

(2-2)

(第25表－5)

区 分 換地地区	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 標準値よりの減点方式

2. 清算の方法 比例地清算の方法

第5節 換地計画書樹立の年度計画

(第25表－6)

区 分 換地地区	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
真良瀬嶺	平成28年度～ 令和7年度	令和7年度	令和7年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区分		区画整理 (千円)	備考
主要工事		(1,300,000) 1,855,714	(平成27年度単価) 令和3年度単価
附帯工事		-	
計		(1,300,000) 1,855,714	
関連事業 (参考)	国営	(603,000) 824,736	(154,422百万円÷9156ha×48.9ha)
	都道府県営	(803,000) 1,052,048	県かん真良瀬嶺地区1,342百万円÷71.7ha×48.9ha 県かん長間173百万円÷621ha×48.9ha
	団体営	-	

【事業費関係(事業費の変動10%以上)】

地区内の農地において、降雨後の表面水の滞留が見られたため、調査したところ地下水位が高い事が判明したことから、地下水位の影響を受けないようにするため、盤上げを行う必要が生じた。そのことから、盤上げに必要な基盤材を他地区から搬入したことにより、整地工の事業費が増となった。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考
区 画 整 理	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	(42,528) 47,601	(56,402) 50,393	
		品質向上効果	(1,397) 5,828	(1,397) 5,828	
		営農経費節減効果	(38,522) 37,880	(38,522) 35,402	
		維持管理費節減効果	(△ 5,316) △ 2,796	(△ 3,997) △ 1,503	
		国産農産物安定供給効果	(6,312) 5,891	-	
		営農に係る走行経費節減効果	-	-	
	農業の接続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果	-	-	
		災害防止効果(農業)	-	-	
		農業労働環境改善効果	-	-	
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)	-	-	
		地域用水効果	-	-	
		一般交通等経費節減効果	-	-	
		地籍確定効果	-	-	
		国土造成効果	-	-	
		非農用地等創設効果	-	-	
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)	-	-	
		水源かん養効果	-	-	
		景観・環境保全効果	(69,256) 75,049	-	
		都市・農村交流促進効果	(132) 128	-	
		その他効果	-	-	
	合計		(146,519) 169,581	(92,324) 90,120	

区分		算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)		③=①+②	(2,550,792) 3,461,958 千円	
	当該事業による費用	①	(1,106,663) 1,842,305 千円	
	その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	(1,444,129) 1,619,653 千円	
年償還額		④	(2,424) 3,557 千円/年	
	うち機能向上分	④'	(2,424) 3,557 千円/年	
年総効果(便益費) 額		⑤	(152,831) 169,581 千円	
現況年総農業所得額		⑥	(24,201) 40,539 千円	
年増加農業所得額		⑦	(92,324) 90,120 千円	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)			(46) 50 年	
割引率			(0.04) 0.04	
総便益額(現在価値化)		⑧	(2,711,162) 3,729,617 千円	
総費用総便益比		⑨=⑧/③	(1.06) 1.07	
総所得償還率		⑩=④/⑥×100	(10.0) 8.80 %	
増加所得償還率		⑪=④'/⑦×100	(2.6) 3.90 %	

第12章 関連する事業

(第28表)

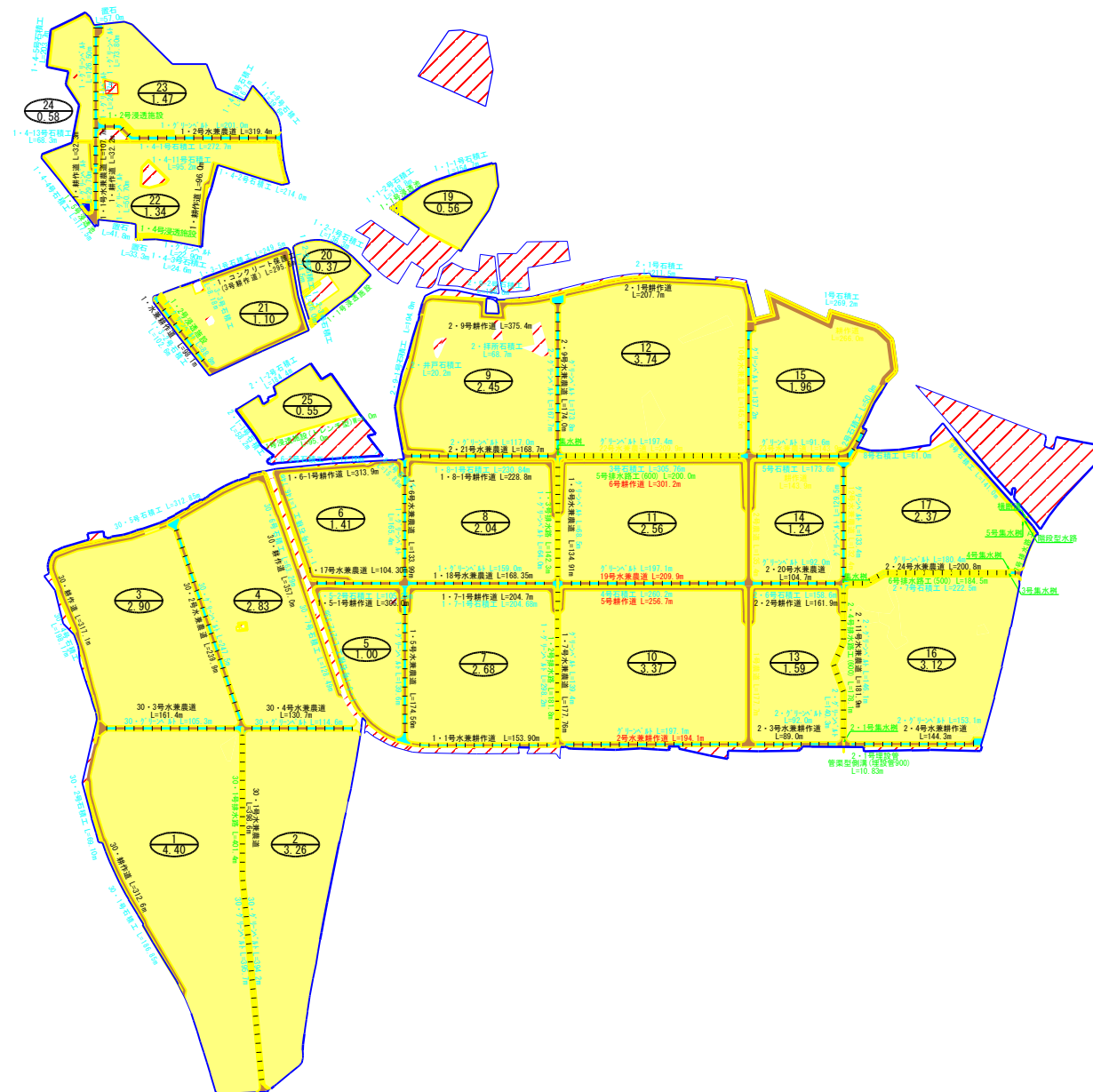
区 分	事 業 名	事業主体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異 種	国営かんがい排水事業 (国営宮古伊良部地区)	国	(9,156) 9,156	ファームポンド、機場、幹線用水 路 支線用水路
	国営かんがい排水事業 (国営宮古地区)	国	(9,156) 9,156	ファームポンド、機場、幹線用水 路
	農用地等緊急保全整備事業 (緑資源機構(公団)営事業地区)	公団	(9,156) 9,156	地下ダム
	農業競争力強化基盤整備事業 (水利施設等保全高度化事業)	県	(70) 71.7	末端かんがい施設(スプリンク ラー)

第13章 現況・計画平面図

1. 現況平面図 {別紙 土地利用現況図}
2. 計画平面図及び土地利用計画図 {別紙}
3. 主要構造図 {別紙 主要構造図面}

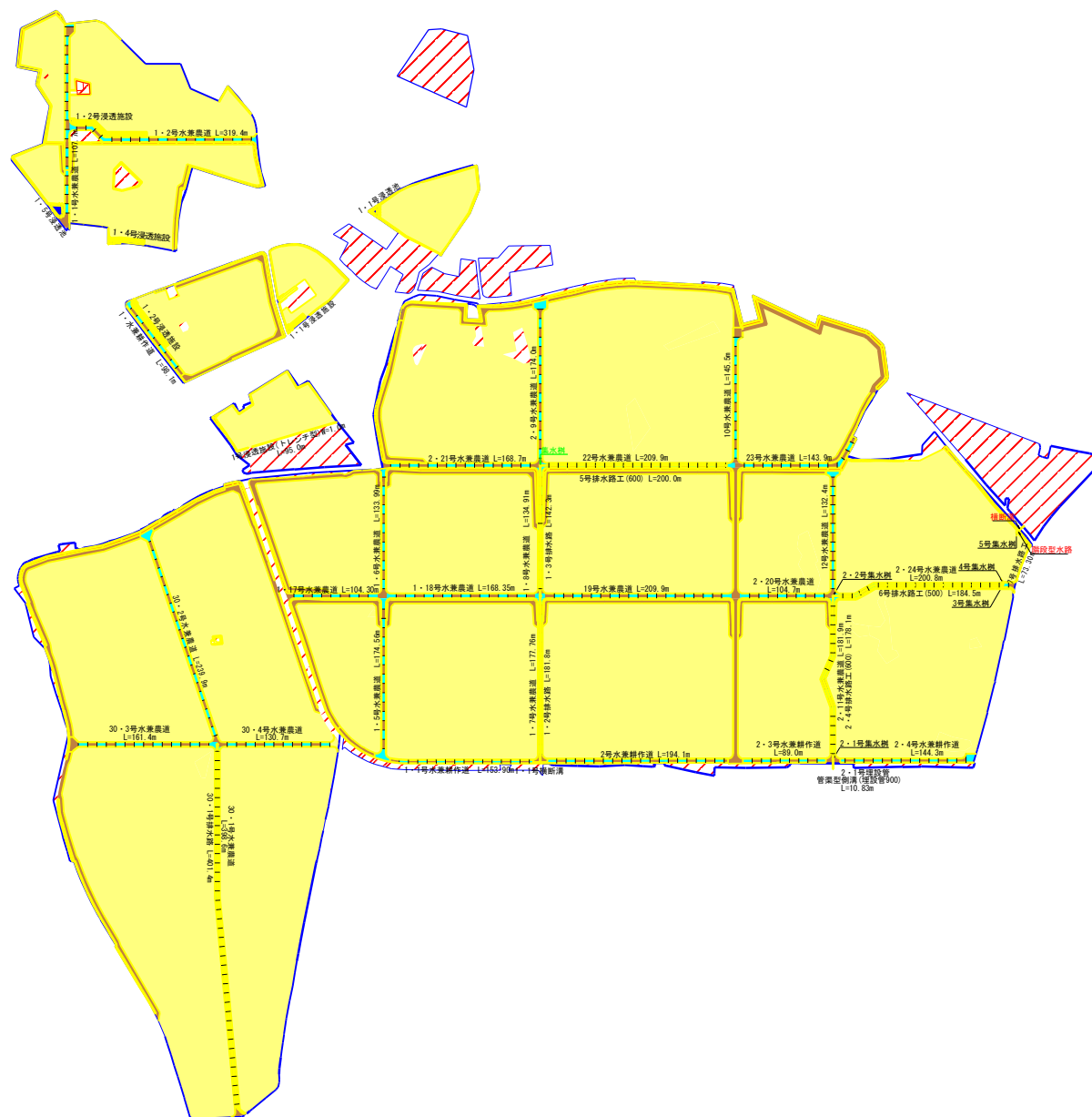
令和4年度 水利施設等保全高度化事業農地整備事業（畑地総合整備型）

真良瀬嶺地区 計画平面図



凡 例	
	地区界
	除 外 地
	ほ場番号 ほ場面積
	ほ 場
	農道・耕作道
	水 兼 農 道
	集水・排水路
	浸透池
	石 積
	グリーンベルト

真良瀬嶺地区 排水計画平面図

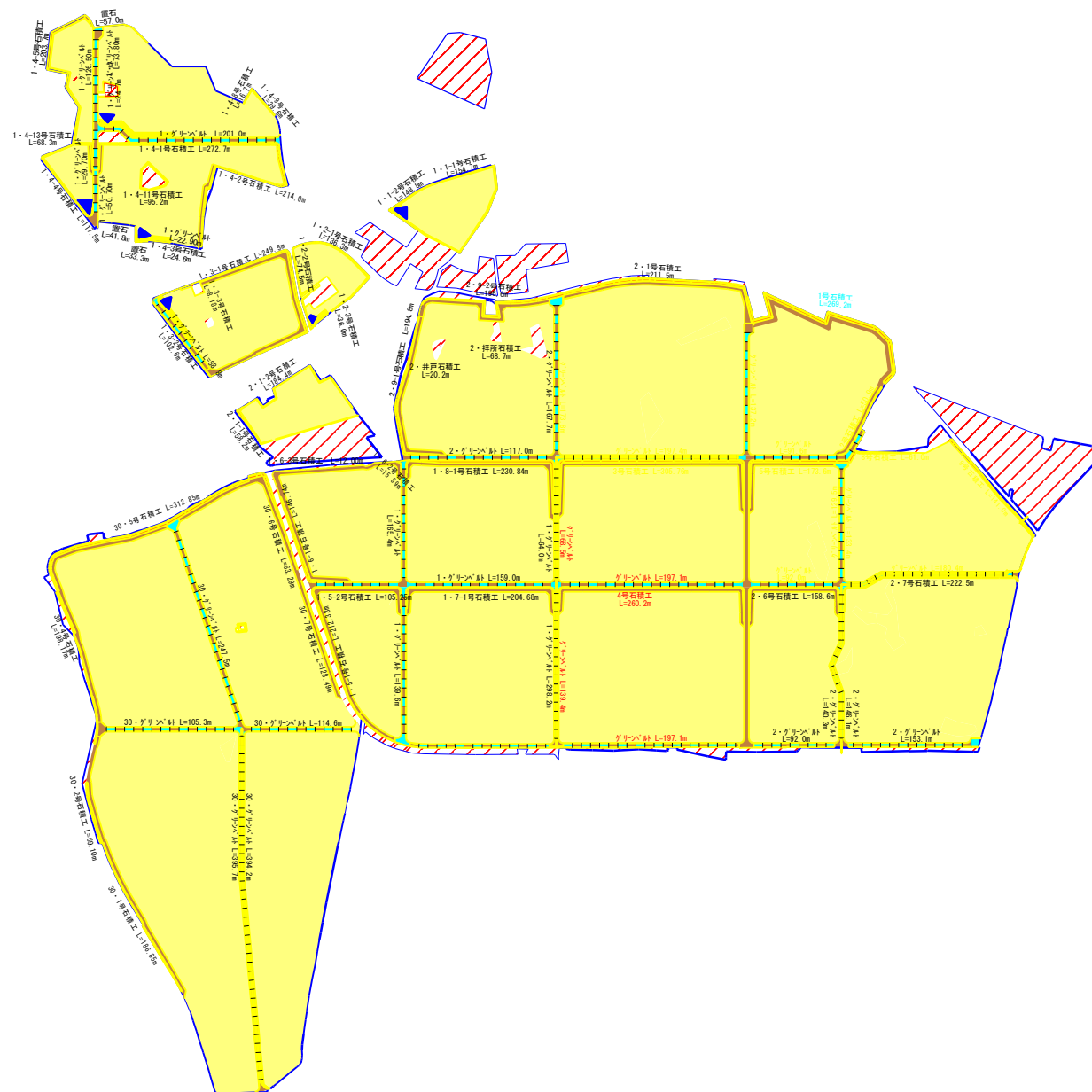


排水路名	延長
30・1号排水路工	401.4
1・2号排水路工	181.8
1・3号排水路工	142.3
5号排水路工	200.0
2・4号排水路工	178.1
6号排水路工	184.5
7号排水路工	73.3
合計	1361.4

凡 例	
	地 区 界
	除 外 地
	ほ場番号 ほ場面積
	ほ 場
	農道・耕作道
	水 兼 農 道
	集水・排水路
	浸透池
	石 積
	グリーンベルト

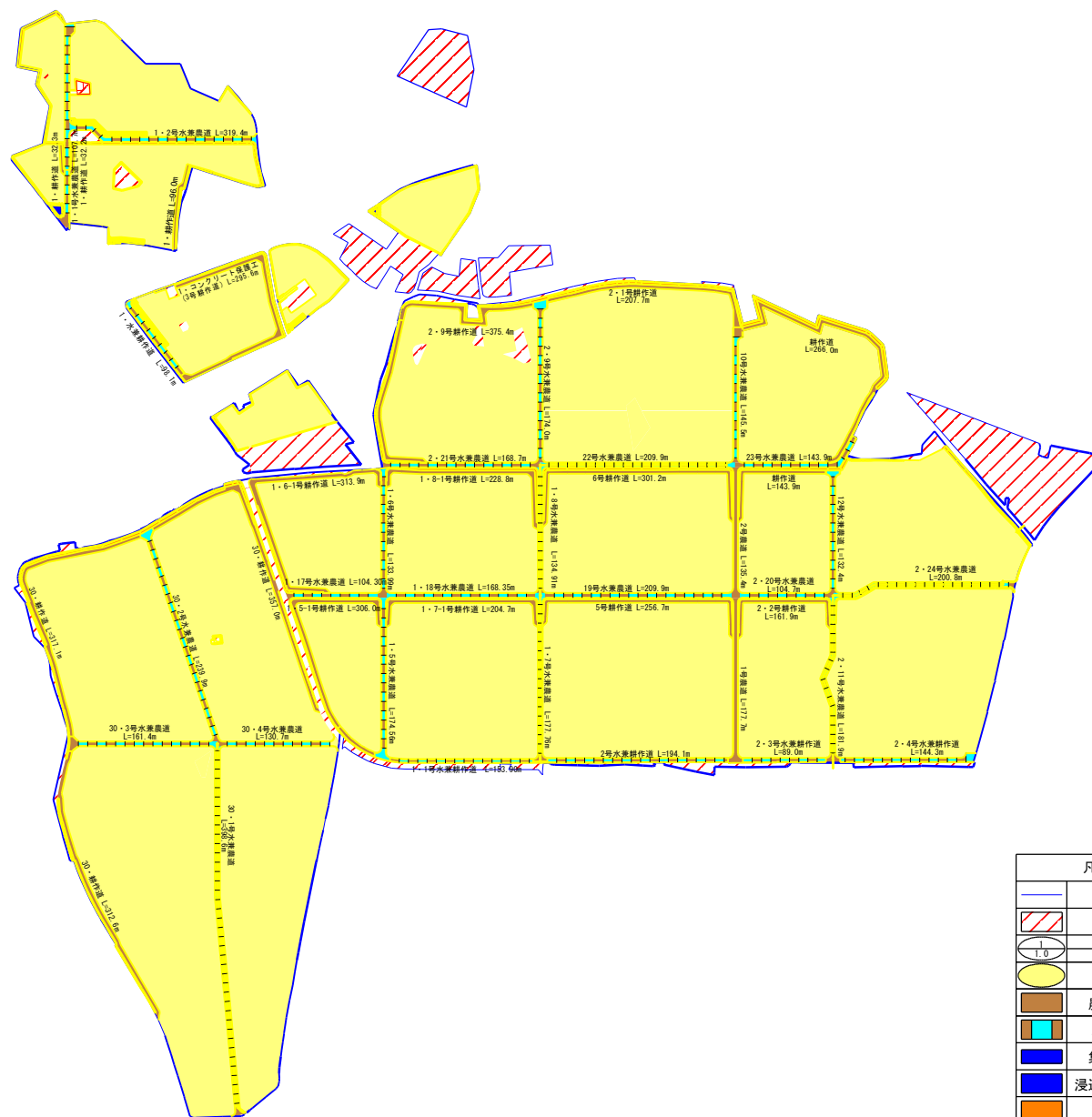
令和4年度 水利施設等保全高度化事業 農地整備事業(畑地帯総合整備型)

真良瀬嶺地区 防災計画平面図



凡 例	
	地 区 界
	除 外 地
	ほ場番号 ほ場面積
	ほ 場
	農道・耕作道
	水 兼 農 道
	集水・排水路
	浸透池
	石 積
	グリーンベルト

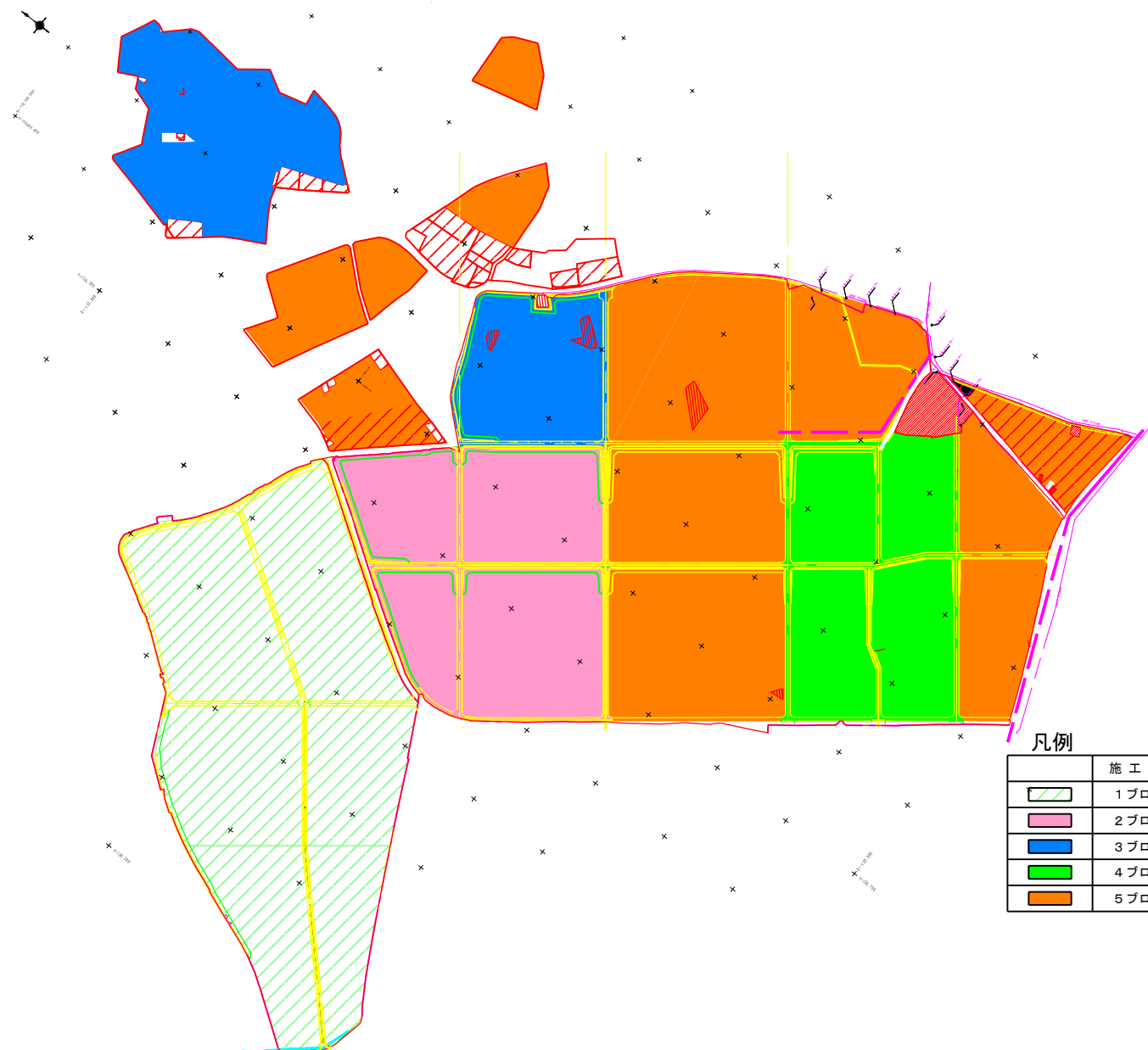
真良瀬嶺地区 農道計画平面図



路線名	幅(有効)×延長 (m)	
20・1号水兼農道	5.5(4.5)	× 398.6
30・2号水兼農道	5.5(4.5)	× 239.9
30・3号水兼農道	5.5(4.5)	× 161.4
30・4号水兼農道	5.5(4.5)	× 130.7
1・5号水兼農道	5.5(4.5)	× 174.56
1・6号水兼農道	5.5(4.5)	× 133.99
1・7号水兼農道	5.5(4.5)	× 177.76
1・8号水兼農道	5.5(4.5)	× 134.91
2・9号水兼農道	5.5(4.5)	× 174.0
10号水兼農道	5.5(4.5)	× 145.5
2・11号水兼農道	5.5(4.5)	× 181.9
12号水兼農道	5.5(4.5)	× 132.4
1・17号水兼農道	5.5(4.5)	× 104.3
1・18号水兼農道	5.5(4.5)	× 168.35
19号水兼農道	5.5(4.5)	× 209.9
2・20号水兼農道	5.5(4.5)	× 104.7
2・21号水兼農道	5.5(4.5)	× 168.7
22号水兼農道	5.5(4.5)	× 209.9
23号水兼農道	5.5(4.5)	× 143.9
2・24号水兼農道	5.5(4.5)	× 200.8
1・1号水兼農道	5.5(4.5)	× 107.7
1・2号水兼農道	5.5(4.5)	× 319.4
1・水兼耕作道	5.5(4.5)	× 98.1
1・1号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 153.9
2号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 194.1
2・3号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 89.0
2・4号水兼耕作道	4.0(3.0)	× 144.3
水兼農道農道計		4602.67
1号農道	5.0	× 177.7
2号農道	5.0	× 135.4
農道計		313.1
1・5-1号耕作道	4.0	× 306.6
1・6-1号耕作道	4.0	× 313.9
1・7-1号耕作道	4.0	× 204.7
1・8-1号耕作道	4.0	× 228.8
30・耕作道	4.0	× 312.6
30・耕作道	4.0	× 317.1
30・耕作道	4.0	× 357.0
5号耕作道	4.0	× 256.7
6号耕作道	4.0	× 301.2
2・2号耕作道	4.0	× 161.9
耕作道	4.0	× 143.9
耕作道	4.0	× 266.0
2・1号耕作道	4.0	× 207.7
2・9号耕作道	4.0	× 375.4
1・耕作道	4.0	× 32.3
1・耕作道	4.0	× 32.2
1・耕作道	4.0	× 96.0
3号耕作道	4.0	× 295.6
耕作道計		4209.6

施工計画平面図

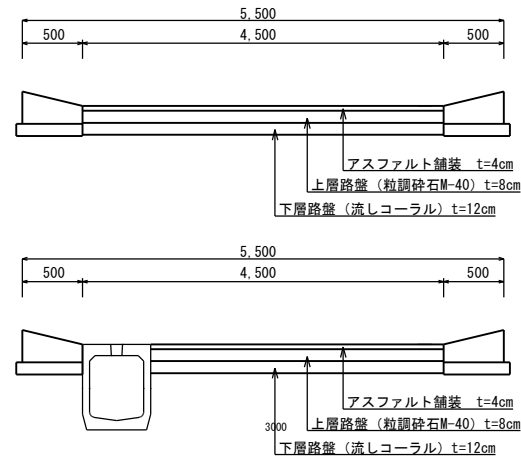
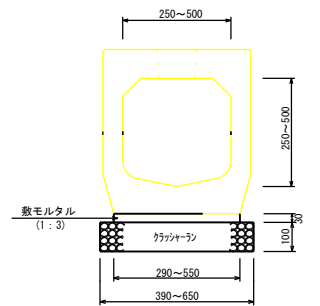
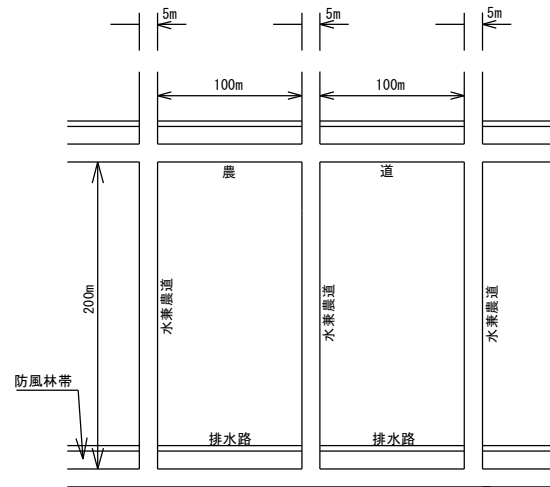
S=1/2500



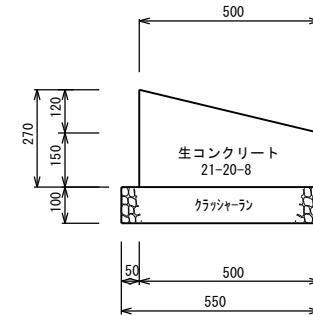
凡例

	施工計画	面積
	1 ブロック	14.57ha
	2 ブロック	7.13ha
	3 ブロック	6.07ha
	4 ブロック	5.68ha
	5 ブロック	21.35ha
		54.8ha

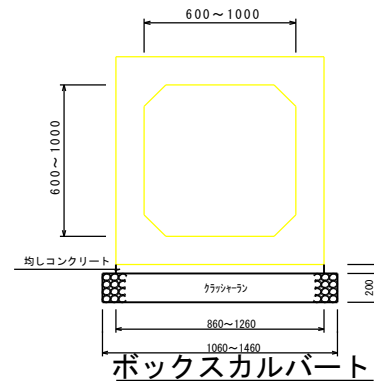
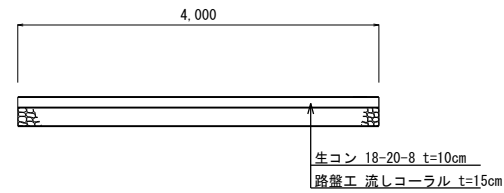
主要構造図(1)



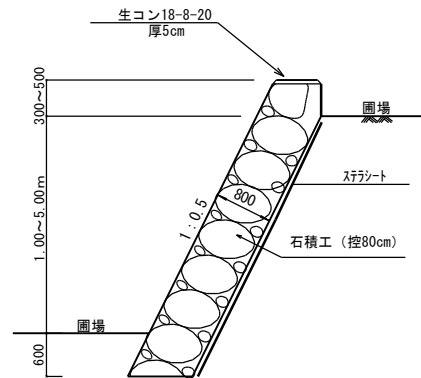
水兼農道標準断面図



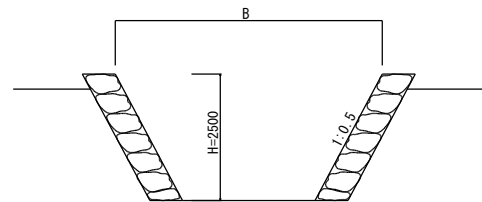
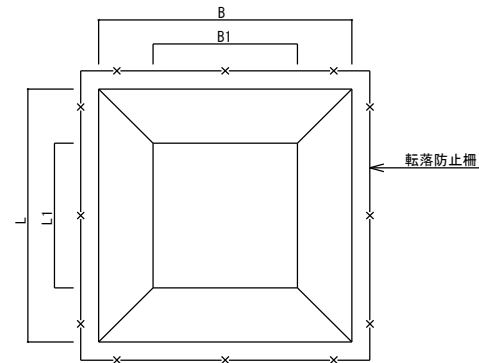
水兼農道側壁



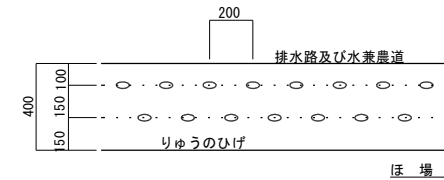
主要構造図(2)



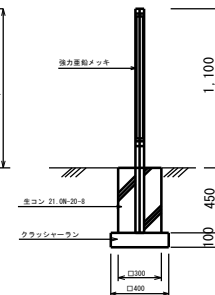
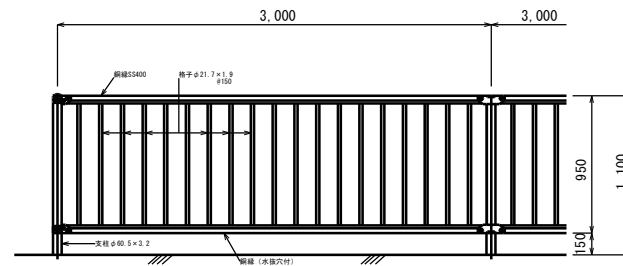
石積工標準断面図



浸透池標準断面図



グリーンベルト工平面図



転落防止柵